



その赤き  
日南  
情熱

日南市市勢要覧

平成十九年



# 飢肥<sup>お</sup> 肥<sup>び</sup>

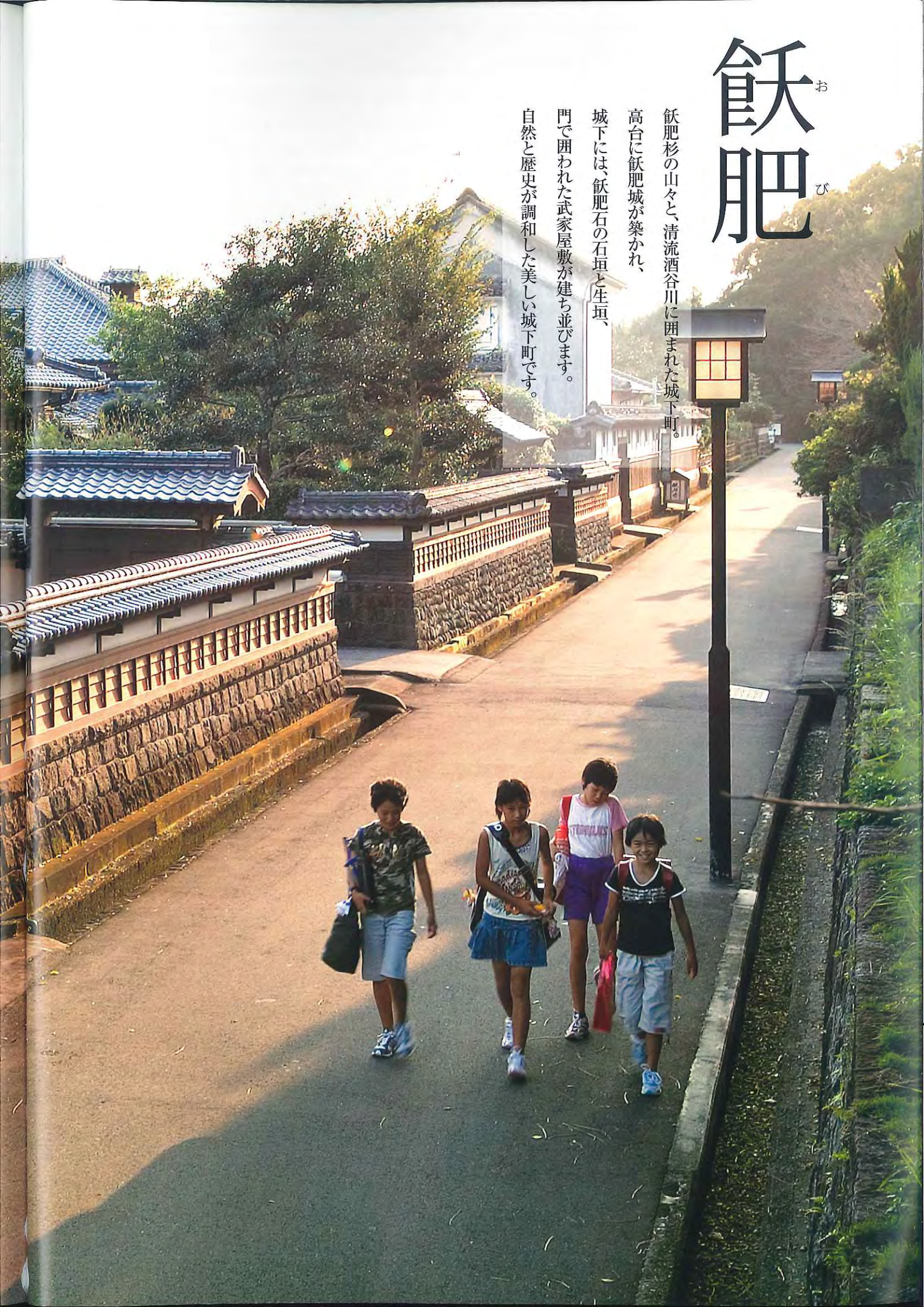
飢肥杉の山々と、清流酒谷川に囲まれた城下町。

高台に飢肥城が築かれ、

城下には、飢肥石の石垣と生垣、

門で囲われた武家屋敷が建ち並びます。

自然と歴史が調和した美しい城下町です。





C O N T E N T S

目次 ◎日南市市勢要覧

飫肥城下町 .....	2
◎対談 魅力ある日南を探して 明日の日南を創ろう .....	6
油津の歴史と今 .....	10
油津港 .....	12
日南海岸 .....	14
富士海水浴場・大堂津海水浴場 .....	16
サンメッセ日南 .....	17
鶴戸神宮 .....	18
まつり .....	19
わたしたちは日南が好きだから .....	24
スポーツが大好きなまち .....	26
文化の発信 .....	28
姉妹都市交流・国際交流 .....	29
伝統文化の伝承 .....	30
農林業 .....	32
棚田のある風景 .....	34
農産物 .....	36
特産品 .....	38
都市づくり .....	40
健康・福祉 .....	42
子育て支援 .....	43
生涯学習・学校教育 .....	44
ボランティア・保健・医療 .....	45
環境 .....	46
商業 .....	48
工業 .....	49
行政 .....	50
消防・防災 .....	51
議会 .....	52
イラストガイドマップ .....	54
資料編 .....	56



# 飢肥城下町

武家屋敷の石垣が立ち並ぶ路地を行くと、  
落ち着いた雰囲気の中に、なつかしい想いにかられます。

## 大手門

飢肥城大手門は、昭和53年、飢肥城復元事業により、樹齢100年以上の飢肥杉を使用して復元されました。

## Otemon the Main Gate

This old castle gate was restored in 1978.

## Obi Castle Town

The stone walls of the old samurai residences lend the streets a historical and nostalgic feel.

## 飢肥の歴史

飢肥の地名は、承平年間(九三一〜九三八)に編さんされた「和名類聚抄」に、すでにその名がみられます。飢肥藩が、伊東氏の所領となつたのは、伊東家第十九代祐兵が、天正十五年(一五八七)、豊臣秀吉の島津征討で、道案内役として功を成し、飢肥を領土として与えられてからです。これ以後、飢肥城下町は、江戸時代を通じて、飢肥藩伊東家五万一千石の

中心地として栄えました。

城下町は、飢肥城周辺に上級家臣、中級家臣の屋敷地、続いて下級家臣と商人町の屋敷地と配置され、現在も、往時の歴史的景観をよくとどめています。

城下町の中でも、飢肥城を中心とした約一九・八haの範囲は、九州で最初の重要伝統的建造物群保存地区として、国の選定を受けました。



## 松尾の丸

飢肥城の御殿の再現として、昭和54年、飢肥城復元事業により、江戸時代前期の書院造りで建設されました。

## Matsuo-no-maru

Shoin-zukuri, or a drawing room in the shoin style, is a form of architecture from the early Edo era.



## 豫章館

明治2年、藩知事になった伊東祐兵(すけより)が城内より移り住んだ屋敷で、主屋は6部屋あり、かつては茅葺きでした。屋敷の入り口は薬医門で、両側に源氏塀を構えた旧藩主家にふさわしい造りとなっています。昭和58年10月1日、市の文化財(建造物)に指定されました。



## 豫章館庭園

庭園形式は枯山水で、名園として、その美しさが知られています。昭和58年10月1日、市の文化財(名勝)に指定されました。





横馬場通り

飢肥は、石垣の美しい町としても知られています。飢肥城を中心として、武家屋敷には飢肥石の切石積みによる石垣が多く見られます。苔むした石垣のある通りを行くと、手入れの行き届いた庭先や古い石段の向こうに、武家屋敷の面影を残す玄關が望めます。

# 武家屋敷通りを行く

## 旧伊東伝左衛門家

江戸時代後期に建築された上級家臣の屋敷です。敷地は約六百坪で、屋敷内には供侍の間や表の間、中、奥座敷、茶の間、土間などがあり、屋根はかつては茅葺きでした。主屋の南東側には庭園が広がっています。

上級家臣の生活を知る貴重な建造物です。昭和六十二年十一月三日、市の文化財(建造物)に指定されました。

Walking down the streets lined with old samurai residences  
Obi is also famous for its beautiful stone walls.



### 旧山本猪平家

明治40年頃、飢肥杉などを取り扱う本町の豪商山本猪平が建築したものです。土間や玄關に美しい模様タイルを貼るなど、当時としてはハイカラな商人屋敷でした。平成11年8月19日、市の文化財(建造物)に指定されました。



飢肥城下町は、かつて「水郷飢肥」とも呼ばれていました。現在、鯉を放流し、観光スポットとして訪れた人の心を和ませています。



旧伊東伝左衛門家



# 飢肥城歴史資料館

大手門を入って、右手に廻ると、高い石垣の上に白壁の建物が見えます。飢肥城復元事業で、昭和五十三年に建設された飢肥城歴史資料館です。飢肥藩伊東家やその家臣の家に代々伝えられてきた甲冑や刀剣、女乗物、打掛、古文書など、飢肥藩の歴史を物語る約二百二十点が展示されています。



伊東家女乗物

伊東家の女性が利用した乗物です。黒漆に唐草文様、伊東家の家紋である「月に星九曜(ほしくよう)の紋」と「庵木瓜(いおりもっこう)の紋」が金蒔絵で描かれ、内部は華やかな花鳥文などの絵が描かれています。



いろいとおどしはらまき  
色々威腹巻 兜・袖付 一領  
(室町時代・十六世紀)

大友宗麟が伊東氏の家臣山田匡得(きょうとく)に与えたと伝えられている鎧・兜です。山田匡得は、日向を支配していた伊東義祐(よしすけ)とともに、大友宗麟のもとに落ちのびた後、大友氏の下で軍功を上げたため、大友家秘蔵の鎧・兜を拝領しました。



Historical Museum

The museum has approximately 220 exhibits, including armor, swords, kago or palanquins, kimono and ancient documents from the Obi Domain period.

# 商家資料館

本町にある白漆喰壁の土蔵造りの商家です。明治三年、本町の豪商山本五平が建築したもので、本町通りの拡幅工事に伴い移築して、商家資料館として生まれ変わりました。

樹齢二百年以上の飢肥杉で建てられており、かつての商家で使われていた道具類約二百五十点を展示しています。





# 伝統と新しさが調和した魅力ある商店街

昭和五十一年から五十八年の本町通り拡幅工事に伴い、商人町としての風情を壊さないように、住民みんなで話し合い、造り上げた商店街です。数百年の歴史ある商人町が、歴史的景観に配慮した町並みに生まれ変わりました。

## 本町通りの再生

本町通りは、飢肥城下に、江戸時代の初めから続く、東西約1kmの商人町です。昭和四十年代に入り、自動車の交通量の増加から、バイパス建設が計画されましたが、地区住民の強い意向から、昭和四十八年に、本町通りの拡幅工事が決定されました。

しかし、拡幅工事により、歴史ある町家が壊されることを心配した、本町の有志が集まり、昭和五十二年に「飢肥本町通り商店街振興研究会」を結成、翌年には「本町通り街並み研究会」が発足し、五つの申し合わせ事項をつくりました。その内容は「家は日本風に統一しよう」、「家は溝から1m下げよう」、「軒は溝まで出そう」、「軒の高さを決めよう」、「ケバケバしい色は避けよう」というものです。こうしたまちづくりへの取り組みが評価され、昭和五十九年に「潤いのあるまちづくり賞」、昭和六十二年に「手づくり郷土賞」を受賞しました。

## 歴史ある商店街の取り組み

飢肥商店会会長  
平部 宜俊さん



この歴史ある街並みを維持しながら商店街を発展させていくのは至難の業です。私たち商店会では頻りに集会を開き、何をどうすればいいかを常に話し合っています。年間に約20万人の方が飢肥を訪れてくださいますが、どうすればその多くの方たちに気持ちよく過ごしていただけるか、良いアイデアをどしどし出しています。その中でユニークながありました。武家屋敷や古い町家の空き家を業泊まりの宿泊施設として使ったらどうかというものです。食事処や遊びの場所などは私たち商店街の者が案内するのです。これはおもしろいアイデアだと思いました。使えそうなのは実行に移すべく行動しています。伝統に新しさを加える。私たちの信条です。



歴史的景観に配慮して整備された本町通り

An attractive shopping district, weaving the traditional with the modern.

## 「厚焼」の伝統を守り続けて

間瀬田泰右衛門さん

「厚焼」とは、5cmほどに厚く焼き上げた卵焼きのことです。しかし、その発祥は元禄二年（一六八九）と古く、間瀬田一族が「子相伝」に受け継いできた三百年の伝統があります。飢肥藩士であった初代間瀬田幸右衛門が上下加熱という製法で作りに上げた卵焼きが始まりです。一族の祝い事の時などに出されていましたが、やがて城下の月見・花見などの宴にも出されるようになり、上級武士の間で重宝されるようになりました。以来、研究に研究が重ねられ、現在の味が生まれました。

十代目になる間瀬田泰右衛門さんは、現代の炭の研究に余念がありません。微妙な火の加減で味が決まる厚焼きは、毎日が勉強だと言われます。





市長 業種の異なる方々にご出席いただいておりますが、それぞれの立場から見た「日南の魅力」をお話してください。

野崎 農業を経営する立場から言いますと、農業に適した気候風土が魅力です。

田上 日南の魅力は、人が住むのに最適な環境であるということです。

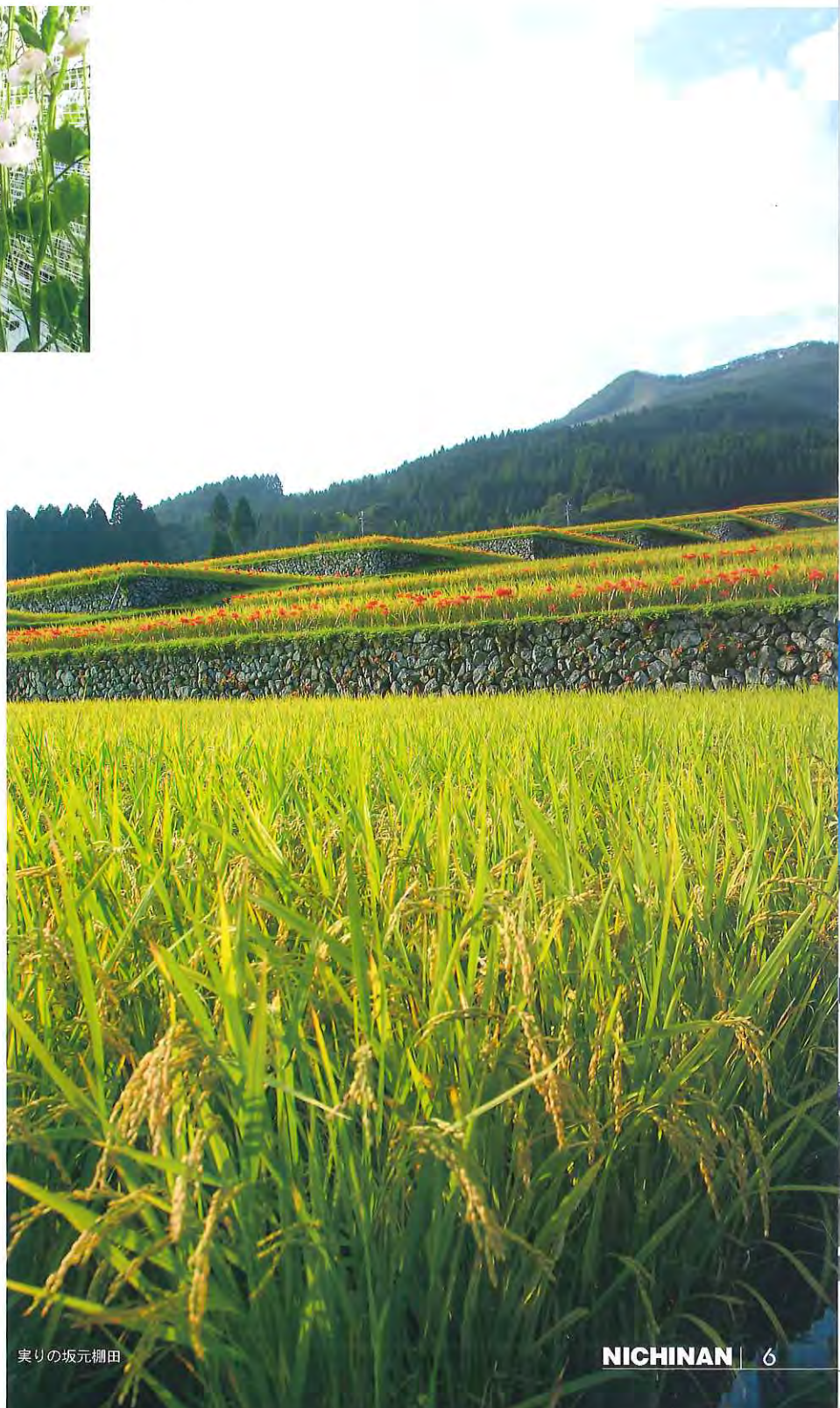
楠原 私はイターン者です。どうしても農業がしたくて、平成十七年六月から日南に住み、農業を始めました。日南の魅力は、自然のスケールが大きいこと、都会化していないところでしょうか。

黒岩 柵田や海水浴場、お城など、百選にいくつも選ばれているのが大きな魅力です。さらに、まち全体の景観をよくすれば、もつと素晴らしいだろうと思います。

谷口 県外から来られた方に、「日南は素晴らしい所にあるんだね」とよく言われます。日南には、数日泊まっていろんな所を巡りながら、ゆっくりと過ごせる魅力的な所がいっぱいあると思います。それをみんなでもつとPRしていくべ



スイートピーの収穫



実りの坂元柵田

きではないでしょうか。

市長 日南は、透き通るような蒼い海と緑の山々に囲まれ、一年を通して温暖な気候に恵まれた自然が豊かなまちです。また、日本の柵田百選、日本百名城、未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選、快水浴場百選など、全国的に認められた歴史、文化、観光の資源もあります。このようにたくさんある日南の魅力を

生かしていくためには、どうすればよいと思いますか。

野崎 私は仕事柄、そのような日南の中で、農業をどうしたらいいかを考えています。農家の高齢化を考えると、農業をやりたいと思っている若い人たちの積極的な受入体制が必要です。

以前、「ぜひ畑を見てみたい」と女性三人が来られ、スイートピーの収穫体験を



されました。とても感動されたようです。このように、長期滞在型の農業体験ができる体制もおもしろいと思います。

田上 ふるさとの魅力を生かすためには、働く場も必要です。それに、Uターン者やIターン者のことも考えてほしいと思います。県外に行っていた人が、「やっぱりふるさとで働きたい」と、帰ってくる例は多いはずですよ。

楠原 日南の素晴らしいところは、自然の生態系を守るべき所がたくさんあることです。自然を守りながら、そこに住む人たちが豊かに暮らしていける方法を考え、もつと自然豊かな日南になればいいと思っています。

◎対談

# 魅力ある日南を探して 明日の日南を創ろう

市長 近年では、地球規模で自然を守ることが主流になっており、それも考慮に入れて行政運営を行っています。農業では、機械化や後継者のことを考えると、個人的な経営は難しくなる一方です。そのようなことから、現在では自然との共生を考えながら、地域で問題を解決していく集落営農(共同体)が考えられています。

観光資源の活用、第一次産業の振興、Iターン・Uターン者の受入体制づくりが図られています。環境に適した企業の誘致と、そのための条例改正も行いました。これらを踏まえ、元気な日南を創るためには、何をどうしたらいいか、福祉、教育も含めてお話ください。

また、雇用問題では、産業が少ないので、

谷口 日南をどうしたらいいかを考えるとき、歴史の町飫肥、港町油津、そして農業など、異業種間の人たちが協力し合い、一つの日南を創っていくことが、将来につながっていくのではないかと思います。



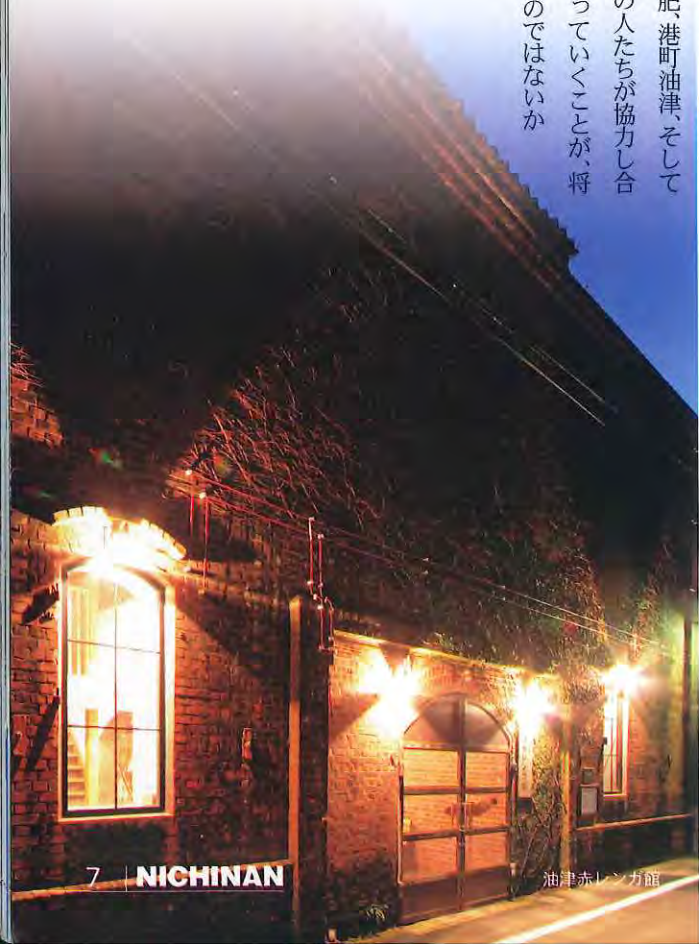
日南市長 谷口義幸



楠原徹さん  
岡山県出身。岡山の農家に生まれ、大学卒業後、天文技師として科学センターに勤務したが、農業への夢を叶えるため日南に移住。現在、農業を研修中。



日南の魅力について活発に意見を交わす参加者(藩校「振徳堂」にて…P28参照)







野崎智光さん  
太陽農園経営者  
中学生の頃からの夢であった農業を経営。現在はスイートピーを栽培。

野崎 私は、油津商店街で文化的な活動などのイベントができないかなと考えます。イベントを通して多くの人に来ていただき、もっと日南を知ってもらい、元気な日南を取り戻したいと思います。

田上 福祉の面では、高齢者の方が生き生きと過ごせる環境が必要です。元気な人は、土に触れて野菜などを作る。それは、自分で何かを作るという自信と生きがいづくりにもなります。多くの高齢者の方は、それをととても喜ばれます。

黒岩 意見は少し違いますが、老人ホームなどがもっと身近にあつて、高齢者の方たちが近くにいるといいなと思います。公共の場にもちよく顔を出して、若い人たちと交流する。そのほうが、私たちも高齢者のために何かできるの



田上あいさん  
宮崎福祉医療カレッジ学生  
串間市の老人ホームに勤務後、日南市にある宮崎福祉医療カレッジに入学。現在、在学中。

ではないかと思うのです。

楠原 高齢化、少子化の社会がどんどん進んでいますが、その状況を受け入れて、どのような社会を創っていくかが課題です。高齢者を若い人が助けるといいうイメージがありますが、農家の高齢者は力強くて知識の豊かな人が多い。私たちは教えてもらってばかりです。

野崎 農園の近くにある知的障害者施設の方々と仕事を通して交流をしていますが、毎回素晴らしい発見があり感動しています。



高齢者と一緒に竹トンボなどの玩具を作って、ふれあいを楽しんでいます。

◎対談

# 魅力ある日南を探して 明日の日南を創ろう







黒岩麻衣子さん  
県立日南高等学校三年生  
二年生の時に生徒会長を務める。ボランティア活動などを通じ、人が活動することに興味を持つ。



谷口裕香さん  
サンメッセ日南社員  
観光施設のサンメッセ日南に勤務。観光客とのふれあいの中で、日南の在り方を考えるようになる。

市長 その施設のことでは、大変感動し

たことがあります。施設の卒業生が一生懸命働いて貯めたお金を、全額施設に寄附すると申し出られたそうです。施設側

は大変感動されましたが、「全額はいただけません。一部だけいただきますので、どうか後はあなたの将来のために使ってください」と言われたそうです。寄附を申し出られた方は「その施設で、働くことを学んだお陰です」と話されています。教育の力はすごいと思いました。

最後に、将来の日南のために、こんなことをしたらどうだろうかという意見がありましたらお話をください。

野崎 仕事の他に、自分の励みになるものを見つけて、それを大事に育てていくことも大切なことだと思います。私は区

に伝わる神楽の笛を吹いていますが、日々の生活が大変充実しています。伝統文化

を継承する意味からも、多くの方に参加してほしいです。

田上 日南の子どもたちは、小さい時から自然と触れ合うことができますが、その自然の大切さを、小さな時から機会あるごとに教えてほしいと思います。また、多くの人と触れ合い、語り合うことでたくさんの方が学べます。若いうちに、こういう話し合いの機会をもっと増やしてほしいです。

楠原 元気な日南を創るには、みんなが日南に誇りを持つて多くの人に日南を知らせること。究極的には行政が手を貸すのではなく、地域の人のパワーで動く

ことが大事で、そういう輪を広げていくことではないでしょうか。

黒岩 まちが元気ということは、人が動くことだと思います。県外の人を呼び寄せることもいいけど、まずは地元の人たちから動くことです。

谷口 日南の人は、チャレンジ精神が旺盛です。そこで、農業や福祉の関係者、高校生なども参加して、チャレンジショップなどを作るとおもしろいと思います。そういう場所があるとみんな活気が出てくるし、お年寄りの方も気軽に立ち寄れます。

市長 行政から声をかけるのではなく、自分たちの住む地域をどうしたらいいだろうか、という気持ちになってもらうことが一番大事です。そこから拓けていくのではないのでしょうか。これから、自分の意見を素直に積極的に出して行動してほしいと思います。



高校生のボランティア活動(車イスの掃除)





油津は、中世の頃「油之津」とい  
ました。島津荘園内の寄郡、飢肥北郷・南  
郷の一部でした。島津荘領家の奈良興  
福寺一乗院政所が荘園を支配し、飢肥  
は南郷・北郷合わせて五百十余町の大  
きな荘園でした。また、海上交通の要  
衝であり、海と山の幸に恵まれた豊か  
な荘園でした。

江戸時代は、  
飢肥藩の主要

## 油津の歴史と今

港として藩の船倉が置かれていました。  
明治、大正、昭和初期と、油津は飢肥杉  
を国内外へ積み出す基地として、また、  
マグロ、ブリなどの漁業基地としてよ  
り大きく発展しました。現在は往時の  
史跡や建物が多く残り、歴史の面影を  
色濃く残すまちとなっています。

Aburatsu then and now  
Aburatsu has been a  
strategic maritime spot  
since medieval times. There  
are still many historical sites  
and buildings dating back  
to when the Obi Cedar and  
fishing industries flourished  
in the Meiji and Taisho eras.



◎美しい日本の歴史的風土百選(油津のまち並み、堀川運河)  
 ◎未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選(堀川運河、杉村金物本店・倉庫、チヨ口船)

# 堀川運河界隈を歩く

遊歩道ができ、運河界隈を歩くのが楽しくなってきました

堀川運河周辺は、映画「男はつらいよ 寅次郎の青春」の主な舞台となった所です。

延々と延びる両岸の石積みは、明治時代から大正、昭和初期のもので、歴史の重みを感じさせます。

近年、遊歩道が整備されたことから、歴史的遺産の堀川運河に新たな魅力が生まれ、多くの人が集まるようになりま

路地に入れば、昔の面影そのままの風景に出会えます

港町らしい潮風を頼に受けて、堀川運河界隈を歩けば、今では見ることの少ない大正時代や昭和初期の建物に出会うことができます。杉村金物本店・銅板葺の建物は、昭和七年に建てられたものです。当時では珍しい三階建ての建物で、今でも現役の金物屋さんです。また、

路地に入ると、歴史的建造物や石垣など、油津の繁栄を物語る数多くの登録有形文化財があります。

## 油津赤レンガ館

大正十一年に造られたレンガ造りの倉庫です。市民三十一人が出資して買い取り、保存に努めました。現在は市に寄附され、市民の活動の場に活用されています。平成十八年には「赤煉瓦ネットワ

## 旧服部家別荘

油津港を見渡す西町の海岸に、明治時代末期に建てられた旧服部家の別荘があります。服部家はブリ網で富を築き、この場所に別荘を建てました。庭園は、京都の庭師の手により造られたと伝えられています。



現在、整備が進められている堀川運河周辺の完成図



## 堀川運河の歴史

天和3年(1683)12月、五代藩主伊東祐東(すげさね)は、今後ますますの飢肥杉の需要を考え、運河を造ることを決定しました。工事は難航しましたが、貞享3年(1686)3月25日に、約2年4か月の歳月を要して完成しました。完成した堀川運河は、延長約900m、幅36~22m、水深最大6mありました。



旧家のある路地



旧服部家別荘



杉村金物本店

The Horikawa Canal Area  
 Take a stroll along the walking trail.



◎漁業・貿易・観光

# 油津港

油津港は、国内有数のマグロ漁の基地として、また、県南地域における産業・物流の拠点として発展しています。



油津港

## Aburatsu Sea Port

Aburatsu Port is progressing as a distinguished tuna fishing base in southern Japan, and a stronghold for industry and distribution in southern Miyazaki.

## 発展する油津港の変遷

油津港は、昭和二十七年に重要港湾の指定を受け、二十九年には県南唯一の貿易港となりました。さらに、平成九年に無線検疫港、十二年に植物検疫港の指定を受けました。以来、県南地域における産業、物流の拠点港として整備が進められています。また、平成十年には油津港東地区に水深10mと十二mの大型岸壁が完成し、これにより大型船舶の就航が可能になりました。このことにより、チップ船や東京方面を結ぶ大型貨物船が就航し、油津港の取扱貨物量は大幅に増加するとともに、「飛鳥II」、「ばしふいつ



水揚げされたマグロ

くびいなす」などの大型豪華客船が寄港するようになりました。

## マグロ漁の基地として

油津港は、大正六年に国内初の漁港としての指定を受けています。昭和初期からマグロ漁の基地として有名で、現在でも日本屈指の水揚げを誇っています。

## 宮崎県南地域の物流拠点港として

近年、国際的、国内的にも物流コストの削減や地球温暖化などの環境問題に対処するため、輸送効率の面で優れた海

運への輸送転換が進んでいます。これに対応するため、油津港でも物流港としての整備を図っています。

海の玄関である油津港を拠点とした海上交通網の整備と物流機能の強化は、県南地域の経済振興の上からも極めて重要な課題となってきました。そのため、現在「油津港と東九州自動車道を機軸としたまちづくり」を進めています。さらに、港へのアクセス道路、国際化や輸入拡大に対応するためのC I Q税関・出入国管理・検疫体制の整備・充実を目指しています。



大型豪華客船「飛鳥II」の寄港

平成17年までは飛鳥(全長193m、総t数28,856t)が寄港していましたが、平成18年からは、より大型化された飛鳥II(全長241m、総t数50,142t)が油津港に寄港しています。豪華大型客船の寄港により、観光、物産などの地域産業の発展が期待されます。



## 海の幸が豊富

日南の主要な漁港は、油津港と大堂津港です。油津港ではマグロ類、大堂津港ではカツオを中心に、新鮮で豊富な種類の魚が水揚げされています。

また、伊勢えび漁が解禁になる九月から翌年四月までの期間は、市内の漁港で、伊勢えびが大量に水揚げされます。特に、日南の伊勢えび料理は有名で、各店自慢の料理を思う存分味わうことができます。



第2・4日曜日の早朝(6:00~)に油津港内で朝市が開かれます。地獲れで新鮮な魚介類、農産物、花き類などが販売され、多くの人が早朝にもかかわらず訪れ、賑わいを見せています。



日南の伊勢えびは旨い！伊勢えび漁が9月に解禁になると、新鮮でおいしい伊勢えび料理を満喫できます。

# 旨いものがいっぱい！

どこまでも澄み切った紺碧の海と、魚介類を育む黒潮の流れ。日南海岸は旨いものが豊富に獲れる自然の宝庫です。

Nichinan is blessed with the fruits of the sea  
Try our fresh fish throughout the year.



日南の海で獲れる魚です。潮風と、豊富な日照の中で天日干しされた、新鮮でおいしい干物が味わえます。

### 伊勢えびまつりを みんなで主催

伊勢えびまつり実行委員会 谷川公男さん



二十年前に伊勢えびまつり実行委員会を立ち上げて始めたのが「伊勢えびまつり」です。伊勢えびの漁期は宮崎県は九月初旬から翌年の四月十日までです。期間中は伊勢えびまつりと称して、美味しい伊勢えび料理を提供しています。獲れたての活きのいい伊勢えびを生き造りやポイル、塩焼き、フライ、みそ汁などで食べます。日向灘の黒潮にもまれ、サザエ、ミナなどの餌で育った伊勢えびは身が締まり、ぶりぶりとして甘みがあります。各店それぞれの料理法があり、腕自慢の美味しい伊勢えび料理を楽しむことができます。

鵜戸、油津などの漁港で大量に水揚げされます。獲れた伊勢えびを新鮮なうちに料理して、多くの人に食べてもらおうと。



波状岩で知られる日南海岸国定公園。日本でも有数の起伏のある、美しい海岸線を持ち、南国特有の陽差しを受けて、一年中蒼く澄んだ海の色を湛えています。春は水平線がかすみ、夏は波が踊り、秋はどこまでも蒼く澄み切って、冬は冷たく深い紺碧の色に染まります。四季はもちろんのこと、朝夕にも海は様々な表情をのぞかせ、見飽きることはありません。

波状岩は、潮が引くと巨大な洗濯板のように見えることから、「鬼の洗濯石」とも呼ばれています。

日本風景街道にも選ばれた美しい海岸線は、ドライブはもちろんのこと、海水浴場や磯釣りのポイント、サーフィンエリア、そして、古事記・日本書紀に出てくる神話の舞台となった鵜戸神宮などがあり、多くの人の心を惹きつけてやみません。

## 太平洋を望む日南海岸 深い入江や波状岩の描き出す 風景が美しい

### Nichinan Coastline overlooking the Pacific Ocean

The scene painted by the  
deep inlets and wavelike  
rocks is unequalled in beauty.

#### 鵜戸千畳敷奇岩

鵜戸神宮のある鵜戸崎南側にあります。今から約一千万年から百万年前の間、砂岩と泥岩が交互に堆積してできたものです。長い年月にわたって日向灘の激しい波浪にさらされ、浸食されて今の姿になりました。地層が20度から30度ほど傾いているため、美しい波のような景観ができ、自然が織り成す壮大な力を思い知らされます。





# 四季を通して遊ぼう 日南海岸

きらきらと映える蒼い海原に身を横たえると、まるで身体が透けていくような感覚に包まれます。

日南の海では、若者の姿を一年を通して見ることができません。波が立つ日には、早朝からサーファーが海に入っています。

日南の海のすばらしさは、海の中に入ってみないと分からないと言われます。

海底まで見ることが出来るあまりの透明感に、自分の体が海の中に溶け込んでいくようだ、サーファーが話してくれました。このようなきれいな海水と高い波、美しい海岸線にあこがれ、多くの若者が集まってきました。

最近では、日南海岸の梅ヶ浜でサーフインの全国大会も開かれるようになり、その知名度はますます全国に広がっています。また、日南には富士海水浴場と大堂津海水浴場がありますが、どちらもその美しさと安全性から「快水浴場百選」に選ばれています。

釣りのポイントとしても有名な所がいくつもあり、太公望たちの人気の場所となっています。

美しい海岸に感動  
塚本なおみさん



日南の海は美しく、そこに住む人たちの心はとてもあたたかいですね。私は福岡から六年ほど前に日南にきました。今は結婚して、看護師の仕事をしながら暇を見ては海に入っています。梅ヶ浜は波はいいし、海水もきれいだし、風景もすばらしいです。私たちサーファーは海がいつでもきれいであるようにと、海を汚さないように気をつけ、ごみを拾うなどビーチクリーンを行っています。

この美しい自然や海が、次の世代の人たちにもそっくりそのまま受け継がれていくように、自然の大切さを伝え、残していきたいと思っています。





百選

快水浴場百選

# 富士海水浴場

抜けるような青い空と紺碧の海。太陽に抱かれて遊べる、日本屈指のきれいな海水浴場です。

全長五百mの遊歩道や芝の広場があり、日陰を作るためのパーゴラやベンチもある公園のような海水浴場です。シャワー、トイレ、更衣室、コインロッカーも整い、海の家には軽食もあります。入江の砂浜が広く、誰でも参加できる砂の造形大会やスイムラン大会が開催されます。



**Futo Swimming Beach**  
Clear blue sky and bright blue ocean. You are embraced by the sun here at one of Japan's best beaches.

百選

快水浴場百選

# 大堂津海水浴場

美しい入江に囲まれた、おとぎの国のような楽しい海水浴場です。

少し沖合には小さな人工の島があり、ひょうたん型の子どもプールは、子どもたちに大人気です。海岸には砂浜に通じる階段と緑地があり、階段、床には強い陽差しでも熱くならないトラパーチンが使われています。ここでもスイムラン大会やサンドアート大会が開催され、多くの人が訪れます。



**Odotsu Swimming Beach**  
Surrounded by a beautiful inlet, this beach is like a fairyland.



「サンメッセ日南」

# 蒼い海とモアイ像

遙かな太平洋を背にして佇む七体のモアイ像。その大海原を渡り、イースター島からアフ・アキビの兄弟たちが、平和の親書を携えてやって来たかのように。日南の蒼い海と静かに佇む石像が、訪れる私たちをやさしく迎えてくれます。

Sun Messe Nichinan - Incredible blue ocean and Moai Statues

7 Moai Statues stand with their backs to the far-reaching Pacific Ocean. It's as though their brothers, the Ahu Akiwi have crossed the vast ocean from Easter Island carrying messages of peace. Nichinan's stone statues, standing silently against the blue ocean, warmly welcome us to visit.



日南海岸の美しい海を背に立つモアイ像。イースター島の数ある像の中のアフ・アキビ7体を世界で唯一、完全復元したものです。

## 世界初のモアイ像復元

日南海岸を見下ろす丘の上にモアイ像が立つた経緯には、人々の平和貢献への強い意志がありました。

一九九一年(平成三年)、チリのイースター島でモアイ像が倒壊したままの現状を見た建設機械メーカーの社員の方が、「我が社のクレーンでモアイを修復しよう」と全社員に呼びかけ、さらに、奈良国立文化財研究所やイースター島の考古学者などが一緒になり「モアイ修復委員会」を立ち上げました。翌年、チリ政府との間でアフ・トンガリキ十五体のモアイ像修復の調印が行われ、二年後、十五体のモアイの修復が完了します。

イースター島を司つている長老会は、日本の修復チームの功績に感謝する証として、モアイを日本で復元することを



地球感謝の鐘  
平和を願い、地球への感謝を込めて建立されたものです。

許可しました。これは世界で初めての事です。

モアイ像を建立する場所としては、日南海岸の風景が最適とされ、モアイ修復委員会の了解を得て復元されました。

以来、「サンメッセ日南」はモアイ像をメインとした雄大な太平洋を見下ろす観光施設として、人気のスポットになっています。モアイ像をはじめとした様々な施設、展望台、レストラン、放牧場などもあり、一日のんびりと過ごすことができます。



## ユネスコ世界遺産恒久展示

ユネスコ本部(パリ)の許可・指導で、ユネスコが設定した約830の遺産の中から43の遺産の陶板パネルを、モアイ広場に展示しています。



## 蝶の楽園

蝶の好きな蜜の多い樹木や花が植えてあるため、春から秋にかけて、様々な蝶が飛び交います。まさに蝶の楽園です。



## 太陽の丘

丘全体が日時計になっているので、しばらく佇んでいると、太陽の動きが観察できます。



# 鶏戸神宮

日向灘の荒波が打ち寄せる崖壁の中腹、日向神話の海幸、山幸神話の舞台となった岩屋の中に鶏戸神宮があります。夫婦円満、子宝、漁業、航海、縁結びの神として、また、剣法発祥の地としても知られています。

## Udo Shrine

You'll find Udo Shrine inside a cave, in the middle of a natural quay and the raging waves of the Hyuga sea. It is the stage for a legend about the sea and the mountains. It is known as a place to pray for a happy marriage, childbirth, fishery, sea travel, and matchmaking. And also known as the birthplace of swordsmanship.

## 八丁坂の石段

坂口から社殿まで八丁(約800m)あるので八丁坂と呼ばれています。石段は登り438段、下りは377段です。尼僧が近くの海岸の石を頭に担いで築いたと伝えられています。長い年月をかけてたくさんの参拝者が踏みしめてきたため、真ん中がへこみ、歴史を感じさせます。

創建は第十代崇神天皇の時

代と言われ、主祭神として初代

神武天皇の父、鷦鷯草薙不合尊

(ウガヤフキアエズノミコト)

を祭っています。

桓武天皇の時に神殿を再建、同時に寺門も

建立し、勅号を鶏戸山大権現仁王護国寺と称

しました。日向一円を支配していた伊東義祐

や飢肥藩五代藩主伊東祐実が、神殿の造営修

理を行っています。現在の社殿は、明治二十二

年の大規模な造営修理を経たものです。

明治維新の廃仏毀釈により寺院を廃し、鶏

戸神社と改称。明治七年三月に鶏戸神宮。明治

二十八年に官幣大社に昇格しました。

十二万坪に達する広大な敷地には、大樹が

豊かに生い茂り、青い海とのコントラストは

見事です。明るい朱塗りの神門や楼門、玉砂利

を敷き詰めた勾配のある参道からは、欄干越

しに、奇岩を見ることができます。



## 運玉と亀岩の由来

本殿に入る手前の眼下に亀岩があります。伝説で神武天皇の母君豊玉姫が竜宮から乗ってきたと伝えられる亀に似た岩です。背中の窪みに、小さな素焼きの玉を投げ入れて、見事に入ると願いが叶うと言われています。男性は左手、女性は右手で投げなければなりません。



## シャンシャン馬

宮崎には、旧暦の3月16日、新緑の美しい季節に、新婚夫婦が七浦七峠を越えて、鶏戸さん詣りをする風習がありました。盛装の花嫁を馬に乗せ、手綱を引いて、鈴の音をシャンシャンと鳴らしながら帰っていきました。この様子を唄ったものがシャンシャン馬道中唄です。





# 油津港まつり

海にちなんだイベントが油津港を舞台に、「百聞盛大」に開催されます。中でも一番の見どころは港に上がる3000発の花火です。海の上に大きな花を咲かせ、夏の海を美しく彩ってくれます。多彩な催し物も行われ、市内外から訪れる多くの人で賑わいます。

## Aburatsu Port Festival

This event is staged at Aburatsu Port and is held over 2 days. The best thing to see is 3000 fireworks lighting up the port, brightly reflecting in the summer sea. There are many other colorful events and people come from near and far for this festival.



## 弁甲競漕大会

男女問わず参加できる弁甲競漕大会。友だち同士、職場仲間などでチームを組み、丸太の筏競漕に挑戦します。港まつりの名物イベントのひとつになっています。



## チョロ船

チョロ船は、昭和の30年代まで沿岸漁業で使われていた木造帆船です。主にシビ、マビキ、カジキマグロなどの漁に使われていました。平成13年、地元有志により復元、油津港まつりや油津堀川まつりなどのイベント、小学校の学習教材として使われています。



# 飢肥城下まつり

日南の秋を彩るあでやかな飢肥城下まつり。  
 飢肥藩伊東家の城下町として栄えた往時の面影を残す風情ある飢肥を舞台に、  
 戦国絵巻さながらに、二日間盛大に開催されます。  
 特に元禄の頃から伝え継がれている泰平踊を中心し、侍大将、女武者などの行列は  
 江戸時代にタイムスリップしたようで、観る者を感動させてくれます。



## 早馬

武者が馬にまたがり、まち中を勇ましく駆けていきます。蹄の音、掛け声、甲冑(かっちゅう)のきしむ音が城下町に響きわたります。



## のろしを揚げる会

古式ゆかしく、戦国時代の様相そのままに、のろしを揚げます。こののろしがまつりの始まりを告げる合図です。



## 呈茶

豫章館では、野点(ののだて)が行われます。秋晴れの日、美しい庭園での癒しのひとときです。



## 子ども武者行列

戦に出陣した侍たち。その時の様子を子どもたちが再現します。ダンボールで作られた甲冑(かっちゅう)、鎧ですがその姿は勇壮そのものです。



## 泰平踊(県指定無形民俗文化財)

独特の深編み笠と着流しのあでやかな装いは、県内外にも広く知られています。

Obi Castle Town Festival  
 This festival reproduces the beguiling atmosphere of the Edo era, and includes post horse racing, traditional Taihei samurai dancing, a warrior parade, and a Nodate outdoor tea ceremony.



# 油津堀川まつり

堀川橋や油津赤レンガ館、堀川公園などを中心に、油津の歴史に思いを馳せながら、様々なイベントが繰り広げられます。

ずっしりと築かれた石組みの運河、幾百年の時を経ても変わりなく滑々と流れています。先人たちはどのような思いでこの運河を造ったのでしょうか。この貴重な財産を私たちは有意義に生かしていかなければなりません。

まつりを通して、運河の保存や活用、港町としての川、海の環境保全について市民みんなが考えていきます。子どもたちが喜ぶ楽しいイベントも盛りだくさんです。夜になると、堀川橋や油津赤レンガ館がライトアップされ、多くの人が集まり昔を偲びながら語り合います。

Aburatsu Horikawa Festival  
With the history of the Horikawa Canal in mind, we organize various events.

## ほりかわ音楽祭

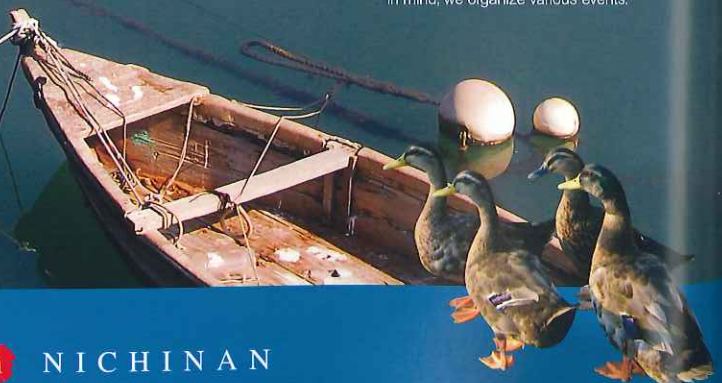
地元の小・中学生の吹奏楽部の演奏から、ゲストライブまで、聴衆を魅了する音楽の祭典です。

## 気球で遊ぶ

同時に開催される土まつりのイベントとして、気球に乗ることもできます。子どもたちに大人気です。

## テント村

日南の農産物や海産物、工芸品、花などが一同に展示販売され、まつりに訪れた多くの人を喜ばせています。





**Sakatani Village Festival**  
People gather from near and far for this traditional festival.



ライトアップされた小布瀬の滝



会場を笑いでつつむ女相撲おどり

まだ陽が高い夏の夕暮れ、飢肥杉の山々に囲まれた「道の駅酒谷」に多くの人が集まってきました。毎年行われる「せせらぎの里酒谷まつり」のイベントを見るためです。

女相撲おどり、獅子舞などの民俗芸能から和太鼓の競演、子供みこし、ダンスなどが披露されます。最後は、山々にこだまする花火大会で幕を閉じます。

また、前夜祭では近くにある一筋の美しい「小布瀬の滝」がライトアップされ、荘厳な雰囲気の中で神楽が奉納されます。



「わっしょい、わっしょい」と声を合わせてかつく子供みこし。

## せせらぎの里酒谷まつり

伝統的な催し物が披露され、多くの人が山あいの里に集まります。

**Chikoen Cherry Blossom Festival**  
When 1000 cherry trees are in full bloom, a corner of the mountain is painted pink.



桜まつりのイベントとして、愛好家による四半の大会が、和気あいあいのもとに行われます。



落ち着いた風情を残す回遊式庭園

竹香園は、飢肥出身の貴族院議員高橋源次郎氏が別荘地などとして所有していましたが、昭和二十六年に市に寄贈され、市が公園として整備しました。

日南を代表する桜の名所であり、昭和二十八年より「竹香園桜まつり」が開催されています。約千本のソメイヨシノが淡い桜色の霞となって山裾野を覆

うさまは見事です。市内外からも多くの人が訪れます。

また、庭園は、明治四十年頃の回遊式（桃山式）庭園といわれ、出島や橋、石灯笼などを配置、桜や楓などが植え込まれ、落ち着いた日本庭園の風情をそのまま残しています。

## 竹香園桜まつり

千本の桜の花が咲き誇り、山の一角を桜色で染め上げます。



### Floating Lanterns

Although the Aburatsu and Obi districts each have different histories, they both have a festival to send off the spirits of the departed by floating lanterns on water. Both districts hold the festival in August.



## 燈籠流し

日南には、油津地区と飢肥地区にそれぞれ由緒は違いますが、二つの燈籠流しがあります。両地区とも、八月に行われ、故人を偲びます。

八月十五日の夜、油津地区住民が堀川運河に灯りのともった燈籠を流します。先祖や親族を偲んで行われているもので、浴衣を着た少女たちが、燈籠を川面にそっと浮かべ、手を合わせます。また、川岸では、地区の子ども会が太鼓と獅子舞を披露して、霊を慰めます。

### 赤面法印燈籠流し

赤面法印とは、祐遍和尚のことです。美男子で女性の心を惑わすことからこのままでは修行の妨げになると、自ら熱湯をかぶり、顔を醜くしました。以来、赤面法印と呼ばれるようになりました。学徳共にすぐれた高僧で、老後は諸国行脚を行いました。命日の八月三日に、飢肥の願成就寺で法要が営まれ、夜は酒谷川で供養の燈籠流しが行われます。



### Kirishima Shrine Festival

A mountain-peak shrine from which you can command a magnificent view of Nichinan. The festival is well known locally as a festival for children.



子どもの成長を祈ってお参り



奉納神楽踊り



大空に飛び立つパラグライダー

## 霧島神社まつり

美しい日南の風景が眼下に広がる、山頂の神社。子どものまつりとして親しまれています。

五月五日の子どもの日に、子どもの健やかな成長を祈って行われるまつりです。祈願祭から始まり、神楽や獅子舞、鼓禮太鼓子どもの神様などが奉納されます。

また、霧島神社が乱杭野の山の頂き

にあり、よい風が吹くため、パラグライダーによるアトラクションなども行われます。子ども連れでお参りに来た人たちは、悠々と風に乗って飛んでいくパラグライダーの姿に感動し、いつまでも大空を眺めています。





## やっちみろかい酒谷

代表 日高茂信さん



「やっちみろかい」とは、「挑戦してみようじゃないか」という意味です。地域の高齢化と人口減少を憂慮していた有志30人が集まって、平成6年に結成しました。

最初の活動は、子どもの健康と地域のPRを兼ねて、日南ダムの上にたくさんの鯉のぼりを掲げました。また、酒谷にある棚田を観光資源として活用しようと、「れんげの里づくり協議会」に協力し、棚田まつりなどを開催しています。国道沿いには10年間で桜の木を1,000本植栽しました。

「誇りに思える、いつまでも住みたい、心に残るふるさと」づくりを目指して、酒谷の魅力を発信しています。

# わたしたちは日南が好きだから

## 地域づくり活動

郷土を愛する思いは人それぞれで形も違うけど、心意気は同じ。一人の力は小さくても、みんなで力を合わせていけば、大きな力となり素晴らしい事ができます。日南には、そのような可能性に挑戦し、活動している人たちがたくさんいます。

Because we love Nichinan  
Town promotion activities. People who love their hometown, do so for different reasons but the driving spirit is the same. If everyone combines their strengths, incredible things can be done. In Nichinan, there are many people challenging themselves for that possibility.



## 日南市漁協女性部加工グループ

代表 竹井友子さん



### 「宮崎かつお うみっこ節」を創作

日南の港町には魚による家庭料理がたくさんありますが、その中のかつお醤油節が「宮崎かつお うみっこ節」として商品化され、平成18年に宮崎県水産物ブランドの第五号に認定されました。

昔からカツオがたくさん獲れる日南では、かつお醤油節は伝統的な家庭の味です。それを宮崎の味として伝えようと、日南市漁協女性部加工グループが、平成13年に竹井友子さんを中心として発足しました。添加物を一切使わずに、一つ一つ丁寧に作られた伝統の味です。平成17年に、全国漁協連合会主催のシーフード料理コンクール水産加工部門で農林水産大臣賞も受賞しました。

## 日南おやこ劇場

(左から)

代表 南寿早苗さん  
八木真紀子さん  
都甲光代さん



子どもたちの夢や創造性を、体験を通して育んでいこうと、子どもと大人が一緒になって楽しく文化活動しているのが日南おやこ劇場です。観劇やワークショップなどを毎月1回程度行っています。発足したのは平成元年です。

メンバーそれぞれが得意分野を生かして活動しています。飴肥と油津商店街で開催した「忍者ごっこ」は、参加者からとても好評でした。

現在90名の会員が夢の実現に向かって頑張っています。





## 九州の小京都 「飫肥」有志の会

代表 谷口和彦さん

飫肥を愛する人たちが集まって、飫肥を訪れた人たちに古都飫肥を堪能

し、気持ちよく過ごしていただくために、年間を通じて折々の行事を披露しています。例えば、春には商店街の店頭で自前の雛人形を飾り、夏は風鈴を軒下に下げ、秋は十五夜の名月をめぐる。このようなさりげない行為ですが、訪れる人たちに古都のまちの風情を感じていただければうれしいです。

賛同者も増えて、平成16年に始めた当時は20店舗だったのが、今では40店舗に増えています。



代表 中島康俊さん

## 飫肥楽市楽座



飫肥のまちを観光客を乗せて人力車が走る。毎月第3日曜日と正月、5月の連休などに、飫肥楽市楽座「祐兵クラブ」のメンバーで無料乗車サービスをしています。

「飫肥楽市楽座」は、飫肥のまちをもっと魅力的にしようと平成9年に発足しました。年2回、春と秋に野外コンサートの開催やお盆の花火打ち上げなどを行っています。人力車無料乗車はその活動の一つです。平成4年から始めたのですが、飫肥を訪れる方たちに大変喜ばれています。これらの活動も認められ、平成18年に飫肥城下町が優秀観光地づくり賞の金賞・総務大臣賞を受賞しました。



## 親子ふれあい木工教室

夏休みになると、飫肥杉を利用した「親子ふれあい木工教室」を開いています。細田地区のまちおこしグループ、細田プロジェクト会議が毎年行っているものです。この教室を開催することで、手づくりの楽しさと、家族のふれあう時間を市民に提供しています。

対象は、小学生から中学生までの親子です。50cm四方の大きさだったら、何でも自由を作ることができます。日頃、親子で何かに挑戦することの少ない子どもたちは、相談しながら、顔を寄せ合って楽しそうに作品作りに汗を流しています。

## 細田プロジェクト会議

代表 河野憲二さん





# スポーツが大好きなまち



A sports-loving town  
Nichinan hosts many sporting events  
throughout the year.



カーブ応援歌に合わせてダンスを披露する市民団体のみなさん。



## 日南市民体育大会

### 秋

風が吹き始めると、日南はスポーツ一色に染まります。その最たるものが日南市民体育大会です。小学生から高齢者まで、大勢の市民がこの日を待ち望んでいたかのように競技に参加し、熱戦を繰り広げます。

競技種目は、陸上競技、バレーボールやサッカーなどの球技、剣道や弓道などの武道、山岳やサイクリングなど多種多様です。市民へのスポーツの普及と体力の向上を図り、大会を通してスポーツの振興と健康で明るい郷土づくりにつなげることを目的に開催されています。

## 広島東洋カーブとのふれあい

### 春

も間近な二月になると、広島東洋カーブが春季キャンプで日南を訪れます。カーブがキャンプで訪れるのは、春と秋の年二回です。春季キャンプは平成十八年度で四十五周年を迎えました。キャンプ地としての長い歴史の中で市民との交流は深く、リニューアルした天福球場には、選手たちを応援しようと、多くの市民がかけつけます。

また、市民団体が、キャンプ地から見える山頂にこいのぼりを揚げたり、カーブの応援歌に振り付けたダンスを歓迎セレモニーで披露するなどして、キャンプを盛り上げています。



リニューアルした天福球場には、選手を応援しようと大勢のカーブファンが訪れます。



平成18年11月19日  
日南総合運動公園陸上場

スタート



## 秋空の日南路を駆ける 「つわぶきハーフマラソン大会」

毎年十一月には、「つわぶきハーフマラソン大会」が行われます。

日本陸上競技連盟の公認コースは、参加選手から、起伏が少なく走りやすく、沿道のみなさんの温かい声援や拍手にとっても勇気づけられると好評です。平成十八年の大会では、毎回出場している沖電気陸上部の選手たちを含めて、県内外から参加した六百十九名が秋空の日南路を駆け抜けました。また、三皿を走る「親子ペア」の部にも人気があり、親子が手をつないでゴールするほのぼのとした光景も見られました。



気持ちよく走ってもらい、レースに集中できるように、選手を影で支えているのは五百人を超すボランティアの方々です。受付や給水、選手に振る舞われる豚汁の炊き出しなどに協力いただいています。おもてなしの心がこもった手作りのハーフマラソン大会です。

## 剣法発祥鶴戸山顕彰剣道大会

道発祥の地と伝えられる鶴戸神宮で、毎年二月になると剣道大会が行われます。

鶴戸神宮は室町時代に、慈恩(相馬四郎義元)が修業して剣法(念流)を会得し、その後、愛州移香(かほ)が「陰流」を会得した場所であると伝えられており、剣道大会はその由緒を顕彰するもので、大正時代から続いています。小学生から一般まで、毎年千人前後の参加者があり、波の音や潮風の吹く心地よい境内の広場に、剣士たちの鋭い気合いのこもったかけ声が響きわたります。



## 日南市スィムラン大会

美しく豊かな自然に恵まれた日南海岸の良さを、多くの人に知ってもらおうと始まりました。富士海水浴場と大堂津海水浴場で、会場を交互に毎年開催されます。

スィムランとは泳いで走ること。透明感のある海水浴場で泳いだ後、海岸線を走るコースは爽快で、老若男女を問わず、多くの参加者があります。







小村寿太郎

明治時代の偉大な外交官・小村寿太郎は、安政二年（一八五五）九月二十六日に、飢肥藩で生まれました。六歳で藩校「振徳堂」に入校し、安井息軒に師事。優秀な成績で卒業すると長崎に留学して、十五歳で大学南校（現東京大学）に貢進生として入学します。十七歳で明治天皇の御前で講演を行い、二十歳でハーバード大学に入学しました。帰国後は大阪裁判所に勤めた後、外務省に入省しました。

日清戦争後は、外務次官、米國・露國・清國公使をそれぞれ歴任。義和団事件の講和会議に全権で臨んだ後、明治三十四年、四十六歳で外務大臣に就任し、明治三十五年、日英同盟締結を主導しました。そして明治三十八年九月五日、日本の国運をかけた日露戦争における日露講和会議の全権大使として、日露講和条約を調印しました。



小村寿太郎誕生を伝える石碑



小村寿太郎生家(大正十年に現在の場所へ移築)



国際交流センター 小村記念館

この記念館は、平成5年、小村寿太郎の功績を顕彰するとともに、国際化に対応できる人材の育成や市民の文化活動に寄与することを目的に建設されました。小村寿太郎ゆかりの遺品や資料が展示され、業績等が紹介されています。また、和室や同時通訳の可能な300人収容の大会議室、50人収容の小会議室が併設されています。



小村記念館内部



高い石垣、堅固な長屋門、主屋の式台形式の玄関、広い素読の間、枯相の書となる扁額などから、往時の藩校の面影を窺い知ることができます。

高い石垣、堅固な長屋門、主屋の式台形式の玄関、広い素読の間、枯相の書となる扁額などから、往時の藩校の面影を窺い知ることができます。

# 文化の発信

宮崎県を代表する偉大な先人、小村寿太郎。私たちはその業績を讃え、郷土の誇りとします。

Transmission of culture  
Baron Jutarō Komura our greatest ancestor and representative of Miyazaki prefecture.  
We learn from his achievements and he is the pride of our town.

## 振徳堂

天保二年（一八三一）、藩主伊東祐相が学問所を増改築し、従来からの指導陣に安井滄洲、息軒親子を招聘して開校したのが藩校「振徳堂」です。振徳堂は「聖賢の教えを守り、忠孝に励み、礼節を尊び、

長幼の序を重んじ、文武両道を鍛える」ことを方針とし、郷土の子弟教育の中心として多くの人材を養成しました。その

中の一人が小村寿太郎です。明治五年以降は、小学校、女学校、保育所などに使用

され、昭和四十五年十一月三日、市の文化財（建造物）に指定されました。

高

い

石垣、堅固な長屋門、主屋の式台形式の玄関、広い素読の間、枯相の書と

なる扁額などから、往時の藩校の面影を窺い知ることができます。





### 貿易が縁で、オーストラリア・アルバーニー港と姉妹港に

アルバーニー市は、西オーストラリアの最南端に位置する都市です。ウッドチップの油津港への輸入に伴い、平成12年2月16日、姉妹港の提携をしました。経済・文化の交流や青少年の交流が活発に行われています。



### 小村寿太郎が縁で、アメリカ合衆国・ポーツマス市と姉妹都市に

小村寿太郎が締結した日露講和条約の80周年を記念して、講和条約調印式のあったポーツマス市と昭和60年9月5日、姉妹都市盟約を結びました。現在は、青少年のホームステイや絵画、郷土芸能などを通じて交流が行われています。

## 姉妹都市交流・国際交流

日南市とゆかりのある国内外の4つの都市や国際交流員、外国語指導助手との交流を深めることでお互いの文化を知り、視野を広めています。

#### Sister City and International Exchanges

Nichinan is currently strengthening her exchange with 4 domestic and international sister cities, Assistant Language Teachers and a Coordinator for International Relations. We learn about each others cultures and broaden our view of the world.



国際交流員を講師に「語学塾」を開校しています。子どもたちは、外国のゲームや英会話を楽しく学びながら、国際感覚を身につけています。



### 戦時中の疎開が縁で、沖縄県那覇市と姉妹都市に

沖縄県とは、鉄肥杉が弁甲材として輸送されていた頃からの付き合いで、戦時中は沖縄から多くの人たちが日南に疎開してきた経緯もあります。その縁で昭和44年4月24日、姉妹都市盟約を結びました。現在は、舞踊や少年野球を通じて交流が活発に行われています。



### 歴史的な縁で、愛知県犬山市と姉妹都市に

犬山市との縁は、戦国時代に遡ります。初代鉄肥藩主であった伊東祐兵の二女於仙が、初代犬山城主の弟成瀬正武に嫁いだことによります。このような歴史的な縁で、平成12年8月10日、姉妹都市盟約を結びました。小学生の相互訪問や地場産品の相互販売などの交流が行われています。



# 伝統文化の伝承

## 田ノ上八幡神社の弥五郎人形行事

田ノ上八幡神社の弥五郎人形行事は、大隅国の稲積弥五郎が一宮正八幡のご神体を背負って来て祭ったことに由来します。11月23日の秋祭りに、神社の前に高さ7mもある巨大な弥五郎人形が姿を現します。真っ赤な顔に白い髭、大きな目をギロッとさせた巨大な人形は圧巻です。

平成3年3月15日、県の無形民俗文化財に指定されました。(写真は飫肥城下まつりのミニ弥五郎様)



## 四半的

飫肥に伝わる半弓の競技で、的まで四間半、弓と矢が四尺五寸、的が四寸五分であることから四半的と呼ばれ、座ったままの姿勢で射るのが特徴です。

平成3年8月1日、市の無形文化財に指定されました。



## Passing down our traditional culture

We would like to pass our important cultural assets on to generations to come.

## 泰平踊

泰平踊は飫肥城下に江戸時代から伝わる町衆の盆踊りでしたが、鹿児島藩との牛之峠論山和解成立を祝って城下の若い侍にも参加が許され、盂蘭盆会(7月のお盆)に報恩寺で踊られていました。その後、幕末に、武士の参加が禁じられ、中断しましたが、明治中頃に本町区と今町区で復活されてからは、機会あるごとに踊られています。

三味線、太鼓、尺八の囃子方と、唄い方、踊り手で編成されています。踊り手のうち武士の装束は着流しに深編笠、町奴は奴の装束に手拭いで頬かむりをして踊ります。

昭和37年5月15日、県の無形民俗文化財に指定されました。

## 風田の盆踊

風田区では初盆の家庭を訪問し、庭先で踊る伝統的な盆踊りが伝えられています。太鼓や尺八、三味線の伴奏に合わせ老若男女が揃いの浴衣で踊ります。泰平踊の原形はこのような踊りであったともいわれています。







### さとねり

日南では江戸時代末、1830年代頃から黒砂糖作りが行われてきました。サトウキビの絞り汁を煮詰めて、練り上げることから「さとねり」と呼ばれています。現在でも当時の製法で黒砂糖が作られており、絞り汁を煮詰めるのも、練り上げる作業も全てが手作業で、夜を徹して行われます。微妙な火の加減などに、熟練した職人の感覚が冴えます。



### 東郷のクスの木

大宮神社の境内にあるクスの木は、樹齢700年以上と推定されています。かつては根回り24m、高さ40mありましたが、近年の台風被害などにより、枝の一部が折れて、高さ約27mとなりました。昭和26年6月9日、国の天然記念物に指定されました。



### 十五夜の綱練り

旧暦の8月15日、いわゆる仲秋の名月に行われるもので、東郷地区の殿所区や油津地区の綱練りが有名です。殿所区では、区民が総出で終日綱を練ります。18本の小綱を芯となる竹などに巻き付け、太い綱にしていきます。直径60cm、全長60mの大綱になり、綱頭は農産物で顔を表します。また、夜は、五穀豊穰、無病息災、家内安全などの吉凶を占う儀式として、区民総出で綱を引き、ワラ縄で土俵を作り、子ども相撲で楽しいひとときを過ごします。



### 鶺鴒山の磨崖仏

鶺鴒山に、自然の岩に彫られた仏が数体あります。八丁坂の近くの岩には不動明王、その裏山には閻魔大王と四天像が彫ってあります。明和元年(1764)と同2年に、鶺鴒山仁王護国寺の第47世の別当隆岳が、仏師延寿院に彫らせたものです。江戸時代の日向を代表する磨崖仏です。

昭和45年11月3日、市の文化財(彫刻)に指定されました。

### 大迫寺跡石塔群

明治の廃仏毀釈で廃寺となった大迫寺の跡に、五輪塔、多宝塔、板碑など合わせて約250基の塔碑があります。鎌倉末期から江戸時代前期まで、300余年間の塔碑が残されていますが、年代の判明するもので最も古いものは永仁3年(1295)の板碑があります。

昭和40年8月17日、県の文化財(建造物)に指定されました。





## 豊富な農産物

日南は、冬でも温暖な気候で日照時間が長いことから、早期水稲や極早生みかん、中晩柑類、冬春ピーマン、スイートピーなどが盛んに栽培されています。

特に柑橘類は種類が多く、極早生温州みかん、日向夏、ポンカン、不知火、キンカンなどが有名です。近年は、亜熱帯性果樹であるマンゴーも生産されています。

花き類は、施設栽培された切り花としてスイートピーが有名で、その生産量は全国でも一二位を誇っています。

## 生産者が見える、安全・安心な農産物を目指して

安全・安心な農産物を消費者に提供する対策としては、農家が農協などと連携して、米、野菜、果樹などの栽培履歴の記録を行っています。また、地産地消として、「道の駅酒谷」などに農産物販売所を設け、消費者と交流を行ったり、地域の大型店でも生産者の名前を明記して販売をしています。さらに、広域堆肥センター等を活用し、地元産の完熟堆肥を施用することにより、健康な土づくりを目指しています。

## 後継者を育成

農業後継者は、年々若年層が少なくなり、そのため、後継者育成や担い手不足による農地の荒廃防止等に様々な政策が行われています。

若い人たちの農業への意欲を向上させるために、SAPなど若い農業後継者でつくる組織活動への支援やハウス栽培の施設費の補助、初めて農業に従事する人々に対する農業指導などを行っています。今後も、後継者の育成や将来の農業の維持・発展を図るために、集落営農を積極的に推進し、特徴ある日南の農業を目指します。

## おいしい早場米は日南の自慢です

早期水稲生産者 山中長茂さん

## 日

南の早期水稲が始まったのは、昭和三十年頃とされています。

早春、霜が降らなくなるとすぐに田植えが始まり、普通水稲の田圃が青々としている真夏には、日南の田圃は見渡す限り黄金色です。七月中旬に稲刈りが始まり、ほぼ一週間ほどで全部の田圃が刈り入れを終わります。早期水稲は早ければ早いほど値打ちがあると言われますので、いかに早く、おいしいお米をたくさん収穫できるか、生産者は努力を惜しみません。銘柄はコシヒカリを中心に「日南・串間産はまゆう」のブランド名で東京などの中央に出荷されています。豊かな自然と人々の努力が育んだ日南の早場米は、沖縄県の八重山の米と並んで、日本で最も早い出荷の新米です。







畜産

# 雄大な自然の中で 育まれた牛

Our cows graze in splendid pastures

温暖な気候と緑豊かな自然の中で育てられた肉用牛や豚、また、みやざき地頭鶏（じとっこ）として知られている地鶏などが、畜産品として有名です。特に肉用牛と豚肉は宮崎県の「みやざきブランド」推進本部協議会により、「宮崎牛」、「はまゆうポーク」としてブランド品目に認定されています。

みやざき地頭鶏は「日南市みやざき地頭鶏普及促進協議会」が組織化され、「みやざき

地頭鶏」としてブランド化を目指しているところです。

畜産の安全・安心には細心の注意が払われ、肉用牛の生産履歴の管理及び提供を行うトレーサビリティシステムが整備されています。また、耕種農家と畜産農家の連携による粗飼料の生産、粗飼料の自給率の向上に努め、安全・安心な畜産物を消費者に提供できるよう努力を続けています。

千頭の牛を  
肥育しています



和牛肥育農家 安楽秀光さん

**自** 然環境から言えば、日南は牛の肥育には適しています。三十年ほど前に父が始めた畜産業ですが、今では私たち従業員で千頭の牛の面倒をしています。

これだけたくさんの牛を牛舎で世話するのは大変ですが、やりがいもあります。

気を付けていることでは、牛がストレスを感じないようにすることです。そのためいろいろな工夫をしています。牛に鼻環をつけないのもその一つです。ストレスは肉質にも大きな影響を与えますし、病気も引き起こしますから。床にはオガクズを厚く敷いて、衛生にも気を付けています。

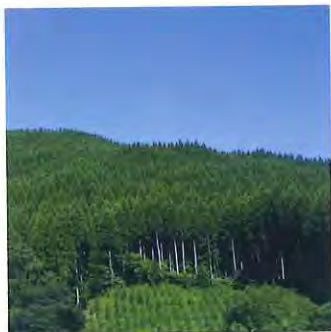
銘柄は「福之国」といって、最高の肉用牛と言われているものです。飼料は私の考えでブレンドしています。将来、日南の特産品となるようこれからも努力していきます。

全国有数の林業地帯で、

400年の歴史を持つ飼肥林業。ここで育てられる飼肥杉は、樹脂分を多く含む水切れが良く、衝撃や曲げにも耐えるため、昔は造船材として利用されてきました。

近年は、加工が容易で光沢があり、シロアリに侵されにくい性質を持つことから、大半が建築材として利用されており、九州や沖縄を中心に、関西や関東、韓国にも出荷されています。

また、市内製材工場で生産される集成材や乾燥材は、飼肥杉が持つ独特の暖かみがあり、環境や人にやさしい建築材として、県内外から注目を集めています。



緑が美しい飼肥杉の山



出荷を待つ飼肥杉

林業

# 魅力ある 日南の飼肥杉





百選

日本の棚田百選

# 棚田のある風景

日南市の最高峰、小松山の麓に美しい棚田の風景が見られます。先人が石を一つ一つ組み上げて造った棚田は、今でも地域の人たちによって維持・活用され、大切な遺産として受け継がれています。

## A landscape of terraced rice fields

You can glimpse the beautiful landscaped terraced rice fields in the slopes of Nichinan's highest mountain, Komatsuyama. These terraced fields, built stone-by-stone by our ancestors are still treasured and used by the locals today. They are also looked after as an important asset.

## 棚田の歴史

坂元地区では、明治二十年代の半ばに、集落共有の茅場を水田にする計画が策定されました。大正十四年、耕地整理事業として着手することが決定し、工事が始まりました。水田の石積みは全て手作業で、地元住民が中心となって五年計画で作業が行われました。

昭和八年八月に水田二一九枚、約五・七haの水田が完成しました。畦道の広い、馬による耕作を前提とした造りで、全国的にも類を見ない幾何学的な美しい棚田です。水田に必要な水は、小松山の中腹にある二つの谷から約千五百mの水路を引いて確保しました。今でも小松山を水源とする清らかな水が豊かに水田を潤しています。

## 美しい棚田を生かして

近年、中山間地区では過疎高齢化が進み、農業従事者が減少し、坂元地区でも棚田の存続が危惧されるようになってきました。それを打開すべく、平成五年、地区の住民が協力して「れんげの里つくり協議会」を発足しました。水田にレンゲの花を咲かせたり、周辺の畦や土手にヒガンバナを植えたりして、四月に「レンゲまつり」を開催し、広く棚田の存在をアピールし、棚田を観光資源として活用しようとの動きが始まりました。また、この取り組みには、まちおこしグループ「やっちみろかい酒台や酒谷区長会」などの団体を束ねた「酒谷地区むらおこし推進協議会」も企画運営に参画し、イベントを支えました。

そうして、平成十二年七月、坂元棚田が農業生産活動を通じて、国土・環境保全、農村の美しい原風景の形成といった多面的機能を発揮する優れた棚田として評価され、「日本の棚田百選」に選ばれました。

平成十四年には酒谷ファミリーネットワーク協議会が棚田オーナー制度を始めました。

また、平成十八年には第十二回全国棚田サミット<sup>※</sup>が開催されました。

<sup>※</sup>レンゲまつりは現在「棚田まつり」として開催されています。



# 新しい農業への取り組み 「酒谷グリーンツーリズム協議会」

近年になり、高齢化や後継者不足で棚田を守り続けることが困難になってきたことから、地域と行政が一体となって棚田保全活動やグリーンツーリズムなどの取り組みを始めました。それが棚田オーナー制度です。年会費一組三万五千円を支払い、棚田で米作りを体験するこの制度は、棚田の保存と、都市住民にその保全意義を広くPRする役割を果たしてくれるようになりました。

現在では、棚田オーナー制度により、地域農業者と地域外住民との交流が温かく進行しています。また、細田地区には農家民宿もあります。農業体験をしながら、田園の中で過ごす田舎暮らしを味わってらっしゃいます。



自然の中で働くのは  
気持ちいい



オーナー 栗生紀子さん

オーナーになったのは、テレビでオーナー募集のニュースを見たのがきっかけです。田植えをしたり、お食事をしたり、稲刈りをしたり、街の生活では味わえない体験ができるのが魅力です。以前から農業には興味があり、田植えなどをしてみたいと思っていたので、願いが叶ってうれしいですね。  
子どもたちも主人もここに来るのをとても心待ちにしています。棚田の景色は美しく、何よりも空気が爽やかだし、子どもたちにもお米がどんなふうにして出来るのか教えることもできるし、オーナーになって本当に満足しています。

## 棚田の収穫祭

寒さが身を引き締める十二月中旬に、棚田で開催される収穫祭は、平成十四年から始められています。収穫された米でおにぎりを作ったり、餅つきをしたり、米でポン菓子をつくったり、そば打ちをしたりと、オーナーやボランティア、地元の住民、小中学生など、棚田保全活動に協力していただいた人たちが集まって、楽しいひとときを過ごします。

自分たちで田植えをし、草を取り、実った稲を刈るという一連の作業をすることの楽しさ、収穫の喜びをみんなと一緒に味わうことで、心の交流が深く行われています。



収穫の喜びを  
分かち合っています



棚田後継者 石灘喜紹さん  
毎年この時期になると、オーナーの方や地元の棚田を支えてきた人たちが、子どもたちと一緒に、収穫を祝い、交流を深めています。田植えに初めて挑戦された方やベテランの方もおられます。みなさん、田植えから草取り、稲刈りと、とても熱心に作業をされます。そして、「何よりもこの自然が気に入って、自分たちで作ったお米を食べられるのがうれしい」と言われますね。  
そんなみなさんのためにも、これからも棚田を大切に維持していきたいと思っています。





日向夏

太陽の光を  
いっぱい浴びて

暖かな陽光の降り注ぐ日南は、柑橘類の宝庫。  
黄金色の実がたわわに実っています。

**日**

南自慢の柑橘類。極早生温州みかんに、ポ  
ンカン、不知火、日向夏、キンカンと、種類  
も豊富に生産されています。中でも、極早生温州  
みかんは全国有数の早期出荷の産地であり、本市  
で発見された日南一号は、極早生みかんの中  
でも、味の良い優良品種として知られています。

# 農産物

温暖な気候と生産者の英知で育まれてきた農産物です。  
超早場米やスイートピーが  
全国でも屈指の生産地となっています。

Nichinan's Agricultural produce

Our produce benefits from our warm climate and farmers' know-how.  
Nichinan is known nationwide as a leading producer of an early rice harvest and sweet peas.



極早生温州みかん



極早生温州みかんの収穫



ポンカン



キンカン

収穫まじかな水田ごぼう畑



水田ごぼう

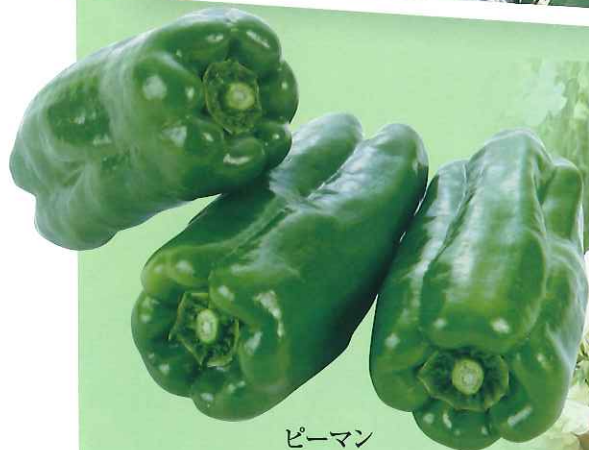




日南が誇るピーマン



不知火



ピーマン



スイートピー



見事に育ったカリフラワー



カリフラワー



キュウリ



たまねぎ

### 手をかけて作られた 堆肥栽培の野菜

土を大切にしながら、消費者に安全・安心の野菜を届けたい。

#### 温

暖な気候を利用して、カリフラワー、タマネギ、オクラ、ピーマン、ツワブキ、水田ごぼろなど、多くの種類の露地野菜類が生産されています。

美しい大玉のカリフラワーや弾力性のあるピーマン、やわらかく風味のある水田ゴボウなど、多くの野菜が堆肥を主流に栽培され、品質も高く評価されています。





**むかでのり**

キリンサイ(海藻)を煮詰め固めたあと、みそ漬けにしたもので、プリプリとした食感が特徴です。



**飢肥の天ぷら**

新鮮な小魚のすり身と豆腐を混ぜ合わせて油で揚げたもので、ふんわりとやわらかく、甘みがあるのが特徴です。



**かつお醤油節  
「宮崎かつおうみっこ節」**



**飢肥のせんべい**

添加物を一切使わず、一枚一枚ていねいに焼き上げた手焼きせんべいです。パリパリのもち米の生地には含まれた砂糖蜜は素材でやさしい味です。

おきよせんべい

泰平せんべい

飢肥せんべい

made in NICHINAN

**特産品**

昔から代々伝わってきた味と製法を守りながら、今に伝える日南の特産品。

日南には、新たに研究を重ねながら、

地元の食材を使って考え出された特産品や

ここでしか味わえない個性豊かな製品が揃っています。

**Local Products**

Nichinan's local products are made using their original methods to convey traditional flavors and recipes to people today. Whilst conducting new research, you'll find a variety of products in Nichinan that use local ingredients and have a unique flavor.

**地鶏炭火焼き「みやざき地頭鶏」**





# 本格焼酎

日南には七つの焼酎蔵元があり、  
 伝統の製法や技法が時を超えて伝承され、  
 芋や麦などを原料にまるやかな味と風味のある焼酎が  
 種類も豊富に醸造されています。  
 日南酒造会館では焼酎の購入や試飲ができ、  
 室内は焼酎のほのかな香りが漂っています。  
 訪れただけで、まるで酔いしれたかのような感覚になります。



地元にある7つの蔵元を代表する芋焼酎



日南獲れの海産物



黒砂糖



厚焼きたまご



佷肥杉を使った工芸品



地元にある6つの醸造元を代表する醤油



# 快適な住空間

**Comfortable residential areas**  
We strive to reconcile eco-friendly urban development with convenience.

## 地域の特性を生かした景観づくり

日南は美しい日南海岸や緑豊かな山々に囲まれた自然環境と、鉄肥の城下町、油津の港町などの歴史的町並みを背景とした、特色ある景観が形成されており、この魅力ある景観を将来にわたり、保全育成、創造するための取り組みを積極的に行っています。また、公園の整備や河川敷を活用した緑地整備、沿道修景の整備などを行い、本市を訪れる人たちが市民が安らぎを感じ、憩いの場となるような都市づくりを目指しています。

## 機能的で快適な交通網の整備

道路は、都市の骨格を成す基盤となる施設であり、市民の生活道路として安全で快適な交通を確保するとともに、活力と魅力ある都市の形成に寄与し、災害時における「いのちの道」としても重要な役割を担っています。

このため、街路や主要な市道について、計画的な整備を図るとともに、ガードレールの設置や歩道のバリアフリー化、適切な維持管理による安全対策など道路環境の整備に取り組んでいます。

## 人にやさしく安全な住宅を提供

公営住宅については、居住環境の改善や住宅の延命のため、必要に応じた補修・改修・改築などを行いながら、高齢化を踏まえた住戸のバリアフリー化を基本とした人にやさしい住宅整備に取り組んでいます。

民間住宅については、新築・増改築に対する住宅金融公庫や県の助成・貸付制度の紹介と相談、並びに既存住宅の耐震に関する相談を行い、良質な住宅建設・改築に取り組んでいます。



スピードの抑制に視覚的な効果をねらったイメージブロック



遊具の設備が整った公園



バリアフリーやオール電化の進む市営住宅



## 私たちはできることから始めました

「日南市まちづくり市民協議会」は、平成十四年四月、まちづくりを市と協働で進めるため、まちづくりに関心と熱意のある市民で発足しました。

この協議会は、全員で活動する場とそれぞれのテーマを持って活動する専門委員会で構成されています。現在は、「景観・街並み委員会」、「木かげづくり委員会」、「わっしょい委員会」、「にちなん住民自治研究会」、「エコいん会」があり目標に向かって活動しています。

「景観・街並み委員会」では、「油津地区における景観形成」をテーマに、歴史的建造物や文化財が形成している街の景観、江戸時代に造られた堀川運河の石積みなどの街並みをいかに美しく風情のあるものとして、後世に残していけるか、一人一人夢を持って臨んでいます。

保護しているだけでは荒廃が進み、空洞化が起るため、会では、まず、油津地区内の自然形態、歴史的建造物の実態を把握し、景観を妨げている巨大看板、電線存在、不釣り合いな現代建築物などの調査を行い、美しい景観を残すための調査対象物を明確化しました。

続いて、行政関係者、各市民団体、大学

の専門家、都市計画の専門家による研究会を開催し、どのような景観にしていくかをまとめていきました。また、油津地区民に対して、アンケート調査を行った結果、「景観づくりを行った方が良い」が七十三%、「できるだけ協力する」が七十九%と多くの市民が景観に対して関心を持っていることが確認できました。さらに、市民向けに座談会を開催して、その内容を報告し、意見交換を行いました。

この研究成果を提言書としてまとめ、平成十八年二月に市に提言を行いました。会では、これらの提言を基に、市と協働してまちづくりを行うことにしています。



実際に街に出て、景観状況を調査しました。



美しい街づくりのための意見交換会を開催しました。

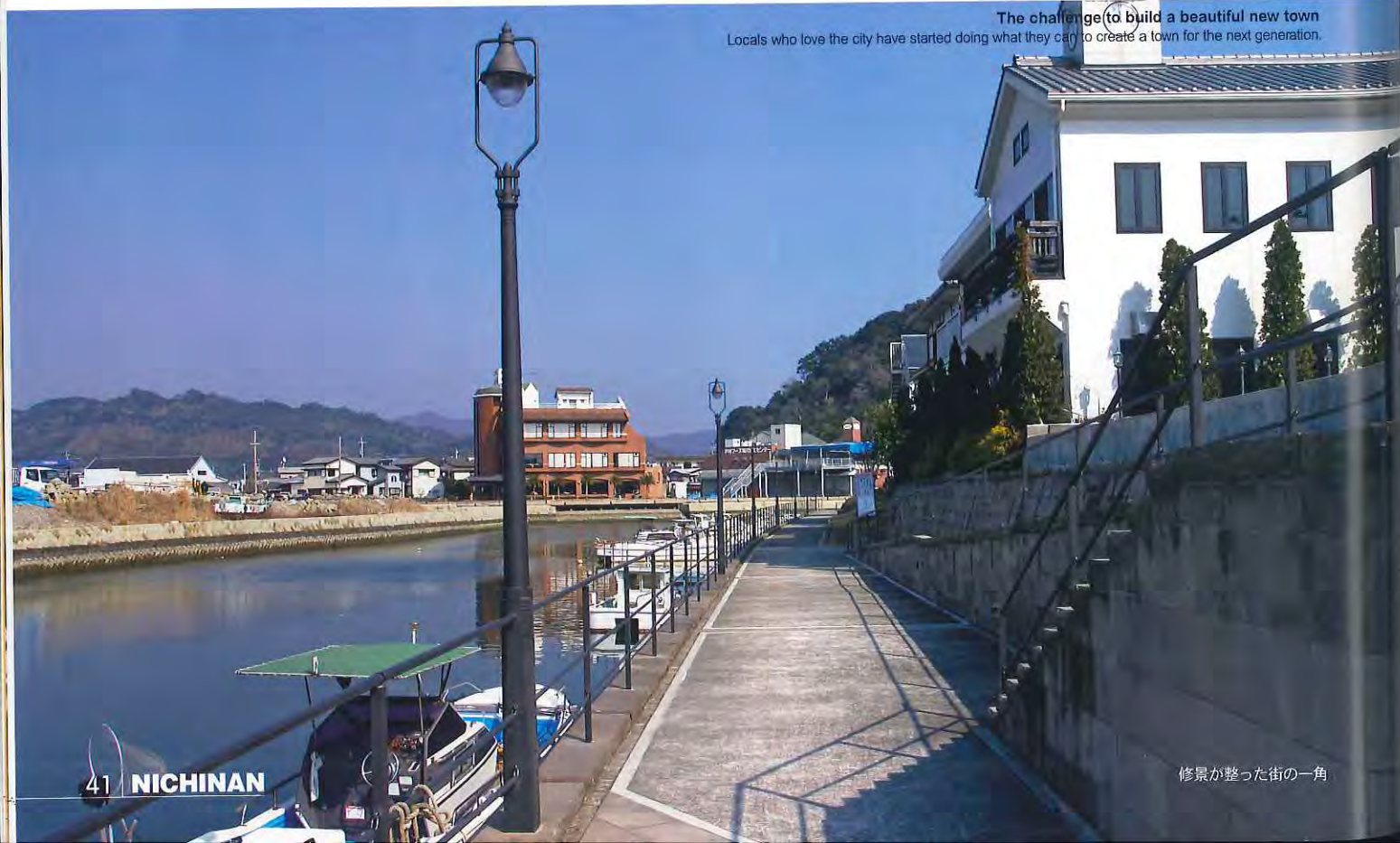
後世へ受け継ぐために、この街を愛する人たちが、自分達でできることから始めました。

# 美しい街づくりへの挑戦

日南市まちづくり市民協議会

The challenge (to build a beautiful new town

Locals who love the city have started doing what they can to create a town for the next generation.



修景が整った街の一角



# 健康で心豊かに過ごしたい

日南市では、「いつでも、どこでも、誰でも、必要なときに」を基本にして、健康や福祉のサービスを行っています。

## 心と体の健康

市民に生涯健康で幸せな生活を送ってほしいと、日南市では、母子保健事業から高齢者までの健康づくりに様々な活動、事業を行っています。生活習慣病対策もその一つです。「笑顔がいちばん・元気にちなん」を基本理念とした「健康にちなん21」を策定し、関係行政機関や医療機関などの専門分野と連携をとりながら、生活習慣病の発病を未然に防ぐことを目的に、「元気づくり」や「病予防」のための各種健康づくり活動を行っています。

また、近年、「食育の大切さが言われるようになりました。

現在、子どもの生活習慣病などが問題になり、毎日の食事が幼児からの人間形成に大きな影響を与えると考えられています。本市では心身の健康や豊かな人間形成のために、乳幼児から高齢者まで、食事の指導や相談、料理教室などを通じて、食育の推進を行っています。

## 福祉施設とサービス

保健・福祉に関わる施設は、「日南市保健福祉総合センター（愛称・ふれあい健やかセンター）」を拠点に、家庭の事情などで保育ができない乳幼児を保育する児童福祉施設や、障害者を自立に導くための訓練・更生などを行う入所施設、通所施設があります。

また、中高年労働者の雇用促進と福祉の向上を図るための福祉施設「日南中高年齢労働者福祉センター」があり、ここでは雇用相談や能力開発、情報の提供、健康促進サービスなどを受けることができます。

障害者福祉では、「障害者自立支援法」の施行により、障害者の自立のための支援を行っています。さらに、福祉バスの運行やタクシー券の発行など、市独自の支援策や助成を行っています。



みんなで楽しくストレッチ



日南市保健福祉総合センター（愛称・ふれあい健やかセンター）



スポーツ行事にも積極的に参加



# 地域で育む子どもたち

子どもたちの健やかな成長を願って、また、お母さんたちの子育てを支援するために、それぞれの目的に応じた事業を展開しています。



## 妊娠から出産、子育てを応援します

母子保健事業では、妊娠から子育てまでの様々な事業に取り組んでいます。出産前に知っておきたいことを学ぶ「パパママ学級」、離乳食を勉強する「お母さんのための料理教室」、子どもの発育や発達を確認し、その時期に応じた子育ての

## 子育てを一緒にサポートしています

市内の保育所・保育園では、特別保育事業として「延長保育、就労や出産などで家庭での保育が一時困難になった場合に子どもたちを預かる「一時保育」、乳幼児児童（0歳から小学三年生）が病気で回復期に家庭で保育ができない場合に預かる「病後時保育」を実施しています。

また、わがすぎ保育園内に「子育て支援センター」を設け、子育てサークル活動の支援・育成、子育て相談などを行い、子育て中の親と一緒に子育てについて考え、支援しています。

就労などによる留守家庭の小学校一年生から三年生を対象に、空き教室などを利用した「放課後児童クラブ」を実施し、児童へ適切な遊び場や生活の場を与えて、児童の健全な育成を図っています。

なお、家庭児童相談室を福祉課内に設け、虐待や非行などの家庭内における児童の相談にも応じています。

Nurturing our children locally

Aiming for the healthy growth of our children and to support our mothers, various projects have unfolded and facilities are being used effectively.



ポイントをお伝えする「三か月児健診」や「ピヨピヨ十か月教室」などです。特に初めての出産、育児を迎えられるお母さん、お父さんたちから喜ばれています。



## 早朝の楽しいひととき

### 小学校の朝の読み聞かせ

朝の授業が始まる前の30分間、市内すべての小学校で絵本の読み聞かせが行われています。読んでくださるのはボランティアや地域の方たちです。平成15年頃に学校側から話があり、それに賛同して始まりました。各学校によって違いはありますが、月に1回から4回ほど行われ、子どもたちの楽しみな日となっています。また、読み手の方たちもこの日を楽しみにしています。

読み聞かせのおかげで、子どもたちの読書に対する関心は確実に高くなっています。



## みんなで楽しく子育てしませんか

### 子育てサークル

子育てには不安、悩み、迷いにつきもの。それをみんなで分かちあって、少しでも子育ての負担を軽くしようと、お母さんたちが自主的に活動している子育てサークルがあります。「ひなっこクラブ」、「M & K」、「あとびっ子の会」、「子育て支援センター」などです。それぞれサークルの特徴を活かし、情報交換したり、励まし合ったり、意見交換したりしています。「M & K」ではイベントや講演などを企画したり、「あとびっ子の会」では子どもによい食生活をと、調理実習なども行っています。

子どもたちが健やかに育っていくようにと、交流を重ねることが、お母さんたちの友達作りの場にもなっています。



# 誰でも学ぶことができる幸せ

「趣味をさらに充実させたい、やりた  
いと思っていたことが講座の中にあっ  
た」など、自分の人生を心豊かに暮らし  
ていくために、幅広い年齢層の方が生涯  
学習講座を受講しています。

市内七地区の公民館で講座が開設さ  
れています。「ケーキ作り講座」や「陶芸講  
座」、「天極拳講座」、「着物のリフォーム講  
座」、「パン作り講座」、市所有のバスで市  
内を巡回する「わかすぎ号」で地域発見講  
座など郷土に関することや、趣味を生  
かす講座に人気があり、みんな熱心に学  
んでいます。修了してからもサークルな  
どを独自に作って、深く探求している人  
たちもいます。

本市では、市民の多様なニーズに応え  
るため、学社融合による学習機会をつく  
り、「日南市役所出前講座」や「すぐれもん  
講座」などの出前講座を、さらに、充実さ  
せていきます。

手作りの楽しさを  
みんなですんでいきます



ケーキ作り講座



陶芸講座

Continuing Education  
Joy in the fact that anyone can learn.

# 健やかでたくましく、 思いやりのある心を育む

地域と学校が協力して子どもたちを  
育んでいく。そのような取り組みが、そ  
れぞれの地域の特性を生かして行われ  
ています。

例えば、小学校では、校庭に植えてい  
るサトウキビを刈り取り、黒砂糖を作る  
「ぎとねり」体験をします。また、秋に黄色  
い花を咲かせる市の花「ツワブキ」を地  
域の親子や教師が参加して、総合運動公  
園の園路脇に植栽し  
ています。中学校で  
はいろいろな職場で  
実際に働いて、仕事  
の大切さを学ぶため  
の職場体験をしてい  
ます。

このように、伝統  
文化の大切さ、働く  
ことの意味、環境へ  
の配慮など、実体験  
を通して学んでいま  
す。

School Education  
Growing healthy, active and  
passionate hearts and minds.

これが砂糖の  
原料かあ



黒砂糖の原料となるサトウキビの収穫



地域でツワブキ植栽のボランティア活動



中学生による職場体験





# 支え合うことの大切さを、みんなは知っています

市民自ら考え行動し、まちの活性化や市民の生活の安定を支えていく。そんなボランティア活動が広く行われています。「車いすマラソン大会」や「市民福祉まつり」をはじめ、「点字」、「音訳」など継続的な活動が行われています。



## 車いすマラソン大会

毎年3月の第1日曜日に、市内を駆けめぐる「車いすマラソン大会」が開催されます。県外からの参加者も多いこの

大会で、たくさんの選手が力強く走るその迫力、沿道に集まった市民は大きな拍手と声援を送り続けます。

この大会は市民福祉まつりと同日に行われ、約800人のボランティアの方々に支えられています。平成18年度で9回目を迎えました。

## 市民福祉まつり

中央街区公園と市役所周辺において「市民福祉まつり」が開催されます。これは福祉の広報啓発のために行われるもので、緑の芝生の広場にはボランティア団体や福祉施設、高齢者団体、障害者団体によるテントが張られ、ふれあい交流が行われます。中でも「ハンディキャップ体験コーナー」は若い人たちにも関心をもたれ、多くの方が疑似体験をしています。また、舞台では、障害者や子どもたち、ボランティアによる合奏やダンスが披露されます。このまつりも、多くのボランティアの方々に支えられ、平成18年度で15回目を迎えました。



## 音訳 朗読サークル「やまびこ」

平成2年、社会福祉協議会の講習を受けて発足しました。11名が月に2回集まって、市広報紙などの音訳をしています。他にも老人福祉施設を訪問して一緒に歌を唄ったり、車いすマラソン大会では車で広報活動もしています。体力は使いますが、みんなで協力してするので楽しいし、やりがいもあります。



## 点字訳 日南市点訳ボランティア「かわせみ」

平成14年、点訳ボランティアとして発足しました。市広報紙などの点訳を、編集から校正まで月に15日ほどかけて行っています。

少しでも視覚障害者の方々に情報を提供できれば幸いです。

Volunteers  
Everyone is aware of how important it is to support each other.



県南医療の中核を担う県立日南病院

救急医療体制は、県立日南病院が日南申間医療圏の二次救急医療施設、日南市休日夜間急病センターが初期救急医療施設、国民健康保険中部病院が救急告示施設として整備されています。医師会による在宅当番医制とともに救急医療に対処しています。

高齢化社会が進展する中で、日南市の保健・医療サービスは、関係機関や南那珂医師会、日南歯科医師会及び日南薬剤師会などと連携して提供され、市民の健康づくりを支援しています。中でも、「かかりつけ医」の取り組みは、地域住民の日常の健康管理や病気の早期発見、早期治療に効果を上げられています。

## 保健・医療 市民の健康を支えています





## 環境

# 安心して住める環境がある

Environment  
An Environment in which we can live safely.

酒谷川

### きれいな水をいつまでも

日南市の上水道の水源は、水質が良好な酒谷川と広渡川で、上水道の施設規模は、計画一日最大給水量が二万三千七百m<sup>3</sup>です。これまでの酒谷川水系に加え、平成十八年に広渡川水系に東郷浄水場を建設したことにより、今後の水需要の増加や緊急時にも、安定したおいしい水が供給できるとなりました。

河川の水質浄化については、公共下水道の整備を進め、また、浄化槽の設置者に補助金の交付を行っています。平成十七年度末の公共下水道の普及率は、約三十六％で、計画に対して約五十％の進捗率となっております。また、市民の水質浄化への関心を高めるために、環境に対する学習会や小・中学生を対象に水生生物調査などを実施して、河川環境についての意識の向上を図っています。

### 地球規模で考える省エネルギー

省資源、省エネルギーを考え、不燃ごみや資源ごみの減量化、再資源化を効率的に行うため、黒潮環境センター「リサイクルプラザ」を建設しました。この施設には修理再生、リサイクル工房、展示室、見学ホールなどがあり、団体や個人が多数見学に訪れ、資源に対する啓発の場として利

### 用されています。

また、省資源、省エネの取り組みとして、本市では、夏にアロハシャツの着用期間を設け、ハイブリッドカーを導入、公共交通機関の利用を促進し、昼休み時間は消灯しています。さらに、公共交通機関、自転車を利用して、行政と住民が一体となつて省エネ、省資源問題に取り組んでいます。

キレイなお水は  
おいしいよ！

### 梅ヶ浜クリーン大作戦 油津中学校の生徒による 海岸のごみ拾い



油津中学校の東側に、美しい形状をなす梅ヶ浜海岸があります。ここは多くのサーファーが訪れる場所としても有名です。県内外から訪れる人たちに、日南の海で気持ちよく過ごしてもらふようにと、油津中学校では平成12年から「梅ヶ浜クリーン大作戦」を始めました。年1回、生徒会を中心に、全校生徒が参加して、梅ヶ浜とそれに平行する臨港道路のごみや危険物を取り除きます。また、この作戦には近くの小学生も参加しています。

### 小さな命から環境を考える アカウミガメの放流



日南海岸では、毎年アカウミガメが上陸して卵を産みます。産み落とされた卵は保護のため、市営のふ化場に移し、そこでふ化させて海に帰しています。海に向かってテクテクと歩いていく小さな姿はかわいらしいと同時に、命の強さを感じさせられます。

この小さな命を守るためにも、私たちは環境のことをもっと身近なところから考えていかなければなりません。この日は朝早くから親子連れが海岸に集まり、子ガメが海に戻っていく姿を見守っていました。







## 水辺の調査から環境を考えます

小・中学生による水辺環境指数(水生生物・水辺の環境)を用いた水辺の調査

川の中に棲んでいる生物の種類によって、水の汚れ具合を容易に知ることができます。また、川辺の音や水の匂い、植物を調べることで、とりまく環境も知ることができます。

児童・生徒たちは、日頃遊ぶことの少なくなった川に入り、楽しみながら、水生生物を調べたり、水の透明度を計ることを体験して、その川の環境を知ります。調査の結果、酒谷川などで、きれいな川に棲む生物が多く見られました。

## 自然環境を守り育てていく 「酒谷みどりの少年団」の活動

山や川、田園など豊かな自然に囲まれている酒谷小学校では、環境美化への取り組みを積極的に行っています。その中心を担っている「酒谷みどりの少年団」では、道路の清掃活動やアジサイの植栽を行っています。アジサイは挿し木をして2、3年ほど育成して、成長した株を植栽します。

この植栽活動は、地域の自然環境を守り育てていくための活動として大変意義深く、みどりの少年団の中心活動になっています。



夕間にもとされた手作りのろうそく



廃油からろうそくを作る会員のみなさん

## 飼肥に灯りをともし会

「私たちが環境のために何かしたい」と有志が集まり、平成16年に発足し、現在、会員は40名です。家庭から出る廃油で川を汚さないようにするのが目的で活動しています。

まず、各家庭から廃油を集めて回り、その廃油でろうそくを作ります。作られたろうそくは、夏至や冬至、環境デー、イベントの日などに大々的に灯りがともされます。夕間がせまり、1,000個の灯りがともされる頃、古都のまちはひととき幻想的な雰囲気につつまれます。

最近では、小・中学生もろうそく作りに参加してくれるようになり、環境問題への関心も高まっています。

一人一人の環境への意識が  
まちを、そして、地球を守ります

市民一人一人の自然環境への意識は高く、  
また、美しい環境を守るための努力も  
惜しみなくなされています。

Each and every person's environmental awareness will help save the earth.



# 未来を見つめた商店街づくり

まだまだアイデアはいっぱい埋まっているはず。油津商店街振興会では、膝を詰めて話し合いながら、魅力的なまちづくりに一歩一歩前進しています。

Commerce  
Creating local shopping areas  
that look ahead to the future.



イベントに関するミーティングの様子



協同組合・日南ショッピングセンター  
理事長 岩切和彦さん

**サ**ピアは組合員15名で運営する店舗の集合体です。普通は大型店の中に小売店が入る仕組みですが、ここでは私たちの運営するショッピングセンターに大型店に入っています。

まちづくりとしては、街の賑わいのためにも、高齢者の施設を街中にもってこることや、油津駅を利用した散策ショッピングなどを考えています。また、堀川運河の遊歩道がもうすぐ完成しますので、ここを利用して、多くの人に気軽に商店街にお越しいただきたいです。



日南市油津商店街振興会  
会長 猪崎正彦さん

**油**津商店街はまつりなどのイベントの他に、広島東洋カープのキャンプが重要なイベントです。歓迎セレモニーや訪れる観光客のための道案内、特産品の展示などを協力して行っています。

日南の商店街は飢肥地区と油津地区にあります。お互いが融合できるようなシステムを創り上げていこうとおもしろいと思います。次世代の若者と一緒アイデアを出し合い、積極的に行動していきたいと思っています。

## 新たな商店街の創造への誘い

現在、油津の堀川運河周辺の整備が進められており、完成すると、日南を訪れた人たちが気軽に散策できるようになります。この事業は新しい油津商店街の創造と連動して行われているもので、商店街の活性化にもつながると期待されています。また、観光客の方々にも、日南の街の中に気軽に入ってきて、日南の魅力を知ってもらい、日南の人情に直接触れてほしいと市民は願っています。

## 油津商店街の活動

古い街並みを生かしながら、新しく利便性のある魅力的な商店街を創造していく。大きな課題ですが、油津商店街では一致団結した歩調で、話し合い、アイデアを出し合い、一歩一歩前進しています。現在、油津商店街は「油津一番街商店街」、「サンプラーージュ岩崎」、「岩崎二丁目商店街」、そして、「協同組合・日南ショッピングセンター（通称・サピア）」があります。共に、思いは同じです。日南を訪れる人たちに、心のこもった「おもてなし」ができるよう工夫していきたいと考えています。



アーケードが整備されている油津商店街



各種テナントにより構成されているショッピングセンター



## 南九州の工業都市を目指して

Industry  
Pursuing the challenge of  
being Southern Kyushu's  
industrial center.

## 受け皿としての好立地条件

現在、日南には昭和十三年に操業開始した王子製紙株式会社を中心に、精密機械器具製造業、自動車部品製造業、地元素材を使った製造業などがあり、地元経済の一翼を担っています。さらに、予定されている東九州自動車道が完成すると、交通アクセスの利便性が増し、工業都市としての期待が一段と高まります。

東九州自動車道は北九州市から大分県、宮崎県を経て鹿児島市に至る四百三十六kmの高速自動車道です。このうち、清武・日南間の二十八kmについては、平成二十六年年度までの完成を目指して整備が進められ、完成すると各都市への所要時間の大幅な短縮になります。さらに、この区間は新直轄方式のため通行料は無料です。また、基本計画区間の日南IC(仮称)から志布志までの整備計画区間への格上げを目指しています。

油津港は貿易などに必要な定期コンテナ航路が整っているうえに、水深十二

mの大型岸壁も整備され、五万t級の大型船舶の寄港が可能になりました。

岸壁の背後には広大な埠頭用地を確保、上屋、大型クレーンなどが整備され、工業港としての役割も担っています。

工場用地としては、日高嶋工業団地、吉野方工業団地があり、条件付きながら税制、助成金などの優遇措置もとられています。

## 地域を活性化する地場産業

地場産業として、日南の特産品鉄肥杉を使った製品を製造販売している「サファリウッド協同組合」、「鉄肥の国プレカッタ協同組合」、そして、日南の名産焼酎の醸造所などがあり、地場産業の活性化に寄与しています。



油津港



日高嶋工業団地

総面積77,861㎡、分譲面積が29,192㎡あります。交通アクセスも大変良く、油津港まで6.5km、国道222号まで1.5km、高速道路宮崎自動車道田野ICまで36km、予定されている東九州自動車道日南IC(仮称)までは700mの距離にあります。また、国、県、市の補助金、税制の優遇措置もあります。



木造住宅の建築材を加工するプレカッタ工場

王子製紙株式会社日南工場



## 市民とともに築く市政

Administration  
Building a city administration  
together with city residents.

日南市では、地域の特性を生かした住みよいまちづくりを実現するため、市民が市政に参加して市と協働する、市民総参加のまちづくりを推進しています。

## 市民を主体としたまちづくり

平成十六年十二月に「日南市市政運営基本条例」を定めました。この条例は、民主主体の自治の実現と地域社会の発展を図ることを目的としており、市民をまちづくりの主体において、市と協働して推進することを基本理念としています。

平成十九年度から二十二年度までのまちづくりの指針として策定した「第四次日南市総合計画後期基本計画」の審議会には、市民の方にも委員として参加していただきました。このように市民と市の協働によるまちづくりは、一歩ずつ前進しています。

市民と情報を共有して  
関心を高める

市民の参加と連携によるまちづくりを推進するために、広報紙や各メディアを通じて、きめ細やかな行政情報の発信に努め、市政をより身近なものに感じることができるような広報活動の展開を図っています。

広聴活動については、高度・多様化する市民のニーズを的確に把握するために、市長自らが市民と膝を交えて気軽に語り合う座談会「しゃべろやかたろや」の開催や市民が思うことを率直に書いていただく「ご意見箱」など、様々な手段を活用して市民の意見や提言を幅広く集約し、まちづくりに反映できよう積極的な取り組み

を行っています。

## 行政サービスの充実

少子・高齢化や高度情報化、国際化といった環境の変化の中で、市民の価値観やライフスタイルの多様化への対応が求められています。

本市では、引き続き、市職員の資質向上や組織機能強化などを図り、行政サービスの充実に努めるとともに、行政組織の効率的な運営を推進していきます。



市民と市長が膝を交えて語り合う座談会「しゃべろやかたろや」



# 市民の暮らしを守り、文化財を守る

日南市の消防体制は、消防本部、消防署二出張所のほかに、消防団が一本部、七分団、三十部で組織編成され、市民の生命と財産などを守る重要な責務を担っています。

また、本市では、市民の防災意識を高めるため、災害への備えなどを指導するとともに、自主防災組織の育成にも努めています。このほか、「日南市地震・津波対策訓練」を実施し、関係機関との合同訓

練も行っています。

さらに、歴史的建造物や貴重な文化財を守るため、文化財防火訓練を行い、あわせて、地域住民に防火に対する指導・啓発や消火訓練も行っています。

防災、防火に対する市民の関心は深く、男性の消防団だけでなく、女性も女性消防団を組織し、防火を市民に呼びかける活動を積極的に行っています。

Fire and disaster prevention  
To protect the lives of citizens and property.



地震・津波対策訓練に参加した市民による初期消火訓練



消防団による冬季の夜間巡回



文化財防火訓練



## 高齢者世帯への安全確認

### 日南市女性消防団

秋の火災予防週間に、一人暮らしの高齢者の家庭を一軒一軒回って、防火防災の安全確認を行っているのが日南市女性消防団員です。女性消防団は、市が団員を公募して、平成15年に発足しました。市の消防署員と一緒に、各家庭を回って火の取扱いなどの確認をした後、住人の方からの聞き取りを行い、問題点があれば対処と指導をしています。女性特有のきめ細かい対処の仕方でも、高齢者の方から信頼を得ています。





議会

# 開かれた議会を目指して

Council Chambers  
Pursuing an open chamber

日南市議会は本会議と、その本会議の下審査機関となる二つの常任委員会(総務文教・環境福祉・産業経済、特別委員会、議会運営委員会)などで構成され、年四回開催される定例会と臨時に開催される臨時会では、効率的な議会運営ができるように努めております。

国の地方分権の推進に伴い、地方議会が果たす役割が、ますます大きくなる中、本市議会では、行政の「監視、牽制機能の充実強化」、「審議能力の向上」、「政策形成能力の充実強化」を図るとともに、議会

の活性化についての調査研究を進めています。

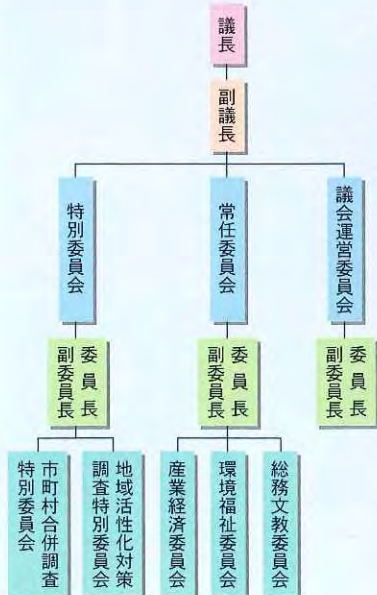
また、市民に開かれた議会を目指すために、ホームページで会期日程や議員の一般質問項目、議決結果、議会会議録などを公表し、さらに、「議会だより」を発行して議会内容をお知らせしています。

今後も、民主主義の根幹を担う議会の機能向上を図るとともに、議会の透明性の確保に努め、市民と情報を共有し、市民の意向を反映させたまちづくりの実現に向けて積極的に取り組んでいきます。



議長 影山一雄

【市議会機構図】





## ごあいさつ

日南市は、美しい自然と由緒ある資源が豊富なことから「太陽と海 みどりの山々 歴史と文化のかおる都市（まち）」をシンボルテーマに掲げており、これらの恵みに育まれた市民の、心豊かで人情味あふれる人柄を誇るまちです。

また、このような市民共有の財産を生かしながら、市民を主役とした元気なまちを目指しています。

我が国は今、少子・高齢化や価値観の多様化、環境保全、地方分権及び高度情報化など大きな変革を遂げようとしています。

こうした時代に対応するため、本市では、平成十九年度から二十二年度までを期間とした第四次日南市総合計画後期基本計画を策定しました。

「あなたと創る夢のあるまちを目指して」を基本として、市民が安心して快適に暮らせ、だれもが魅せられるような活力あるまちづくりを、市民と協働して構築するとともに、次世代を担う子どもたちの希望に満ちた明るい笑顔がいつまでも続くように、将来への架け橋となる諸施策を展開して参ります。

本要覧は、本市の現状と展望を紹介するものです。本市をご理解いただく上で、少しでも皆様のお役に立てれば幸いに存じます。

日南市長  
谷口義孝





# イラストガイドマップ Nichinan

南国ムード満点の海岸線と美しい里山の風景。中世の面影を残した歴史スポットなど見どころいっぱい!! Let's Drive!!

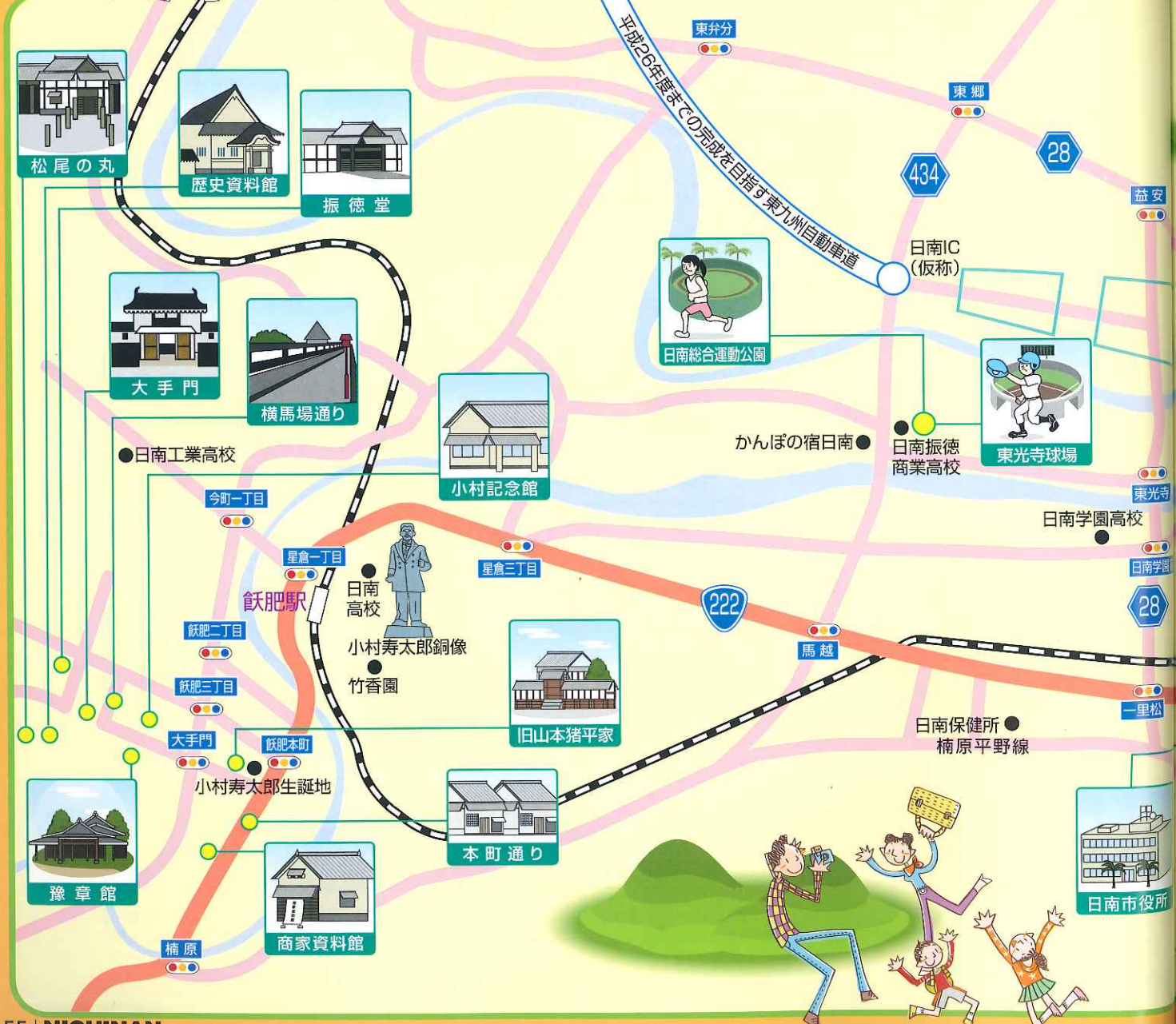




C(酒谷周辺)



B(日南海岸周辺)





# 日南市の歴史

本市は、宮崎県南部に位置し、平安時代には飫肥郷、鎌倉時代以降は島津荘の一部でした。室町時代には、琉球や日明貿易に関わり、大いに栄えたことから、飫肥城をめぐる伊東、島津両氏の争いが絶えませんでした。豊臣秀吉の九州出兵後は、伊東氏の居城となり、江戸時代には五万一千余石の飫肥藩伊東家として、明治維新まで続きました。

廃藩置県後は、飫肥県、都城県、宮崎県、鹿児島県に順次所属し、その後、宮崎県に管轄され、市町村制施行により、26町村が7町村に編成されました。

日南市のうち油津地区は、早くから県南物流の拠点として栄え、飫肥地区は、政治経済の中心地として発展してきました。昭和12年には日本パルプ工業(株)飫肥工場(現王子製紙(株)日南工場)が吾田地区に設立され、本市の工業発展の基礎となりました。

日南市が誕生したのは昭和25年1月1日で、飫肥町・吾田町・油津町・東郷村が合併して市制を施行させ、細田町・鶴戸村を昭和30年2月11日、酒谷村・榎原村大窪地区を昭和31年4月1日に編入し、現在の「日南市」が誕生しました。

市制施行後は、昭和30年に日南海岸が国定公園の指定を受け、「観光のメッカ」として全国の注目を浴び、昭和38

年には国鉄日南線(現JR日南線)が全線開通し、産業・流通等の振興が推進されました。

昭和49年に始まった飫肥城復元は、藩校の振徳堂・大手門・歴史資料館・松尾の丸等が昭和54年にかけて復元・整備され、昭和52年には飫肥地区が国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されました。

昭和44年に那覇市と、昭和60年に米国ニューハンプシャー州ポーツマス市と、平成12年に犬山市と姉妹都市の盟約を締結し、さらに同年にオーストラリア国西オーストラリア州アルバーニー港と油津港が姉妹港として提携し、市民レベルでの交流を深めてきました。

平成11年に油津港東ふ頭に水深12mの岸壁が完成し、本格的な国際貿易港としての港湾機能が整備されました。

現在は、平成26年度までの完成を目指して進められている東九州自動車道「清武-日南間」の整備、また、飫肥城下町や堀川運河を中心とした歴史的景観を生かしたまちづくりの推進、美しい自然や地域の個性を生かした観光開発、天福公園や総合運動公園の整備など、数多くのプロジェクトに官民協働で取り組み、豊かさやゆとりを実感できるまちづくりを推進しています。



■市域の変遷

合併編入年月日	旧町村名	面積 km <sup>2</sup>	合併時		現在 (平成17年10月1日)	
			世帯数	人口	世帯数	人口
昭和25年1月1日	飫肥町	42	2,497	11,967	2,656	6,753
"	吾田町	28	2,167	10,894	7,637	19,078
"	油津町	4	2,794	12,901	2,723	6,035
"	東郷村	24	895	4,948	1,796	5,312
昭和30年2月11日	鶴戸村	66	721	3,340	478	1,163
"	細田町	27	1,549	8,205	1,791	4,542
昭和31年4月1日	榎原村大窪	18	218	1,297		
"	酒谷村	86	894	4,947	561	1,344

## ■自然

日 南 市 の 位 置								市役所の位置	
方位	地名	東経	北緯	方位	地名	東経	北緯	所在地	経緯度
極東	鶴戸字串平	131°28'	31°39'	極南	細田字城山	131°20'	31°32'	日南市中央通 1丁目1番地1	東経131°22'54 北緯 31°35'54
極西	酒谷字割籠谷	131°10'	31°40'	極北	鶴戸字平野	131°24'	31°45'		

## ■人口

年次	世帯数	人口			男女比 (女=100)	一世帯あたり 人員	人口密度 (1km <sup>2</sup> あたり)	備考
		総数	男	女				
平成17年	17,642	44,227	20,532	23,695	86.7	2.5	150.2	国勢調査



## ■一般会計の決算状況

(単位：千円)

平成17年度			
区分	歳入	区分	歳出
総額	17,618,540	総額	17,217,060
市税	4,139,081	議会費	204,858
地方譲与税	406,294	総務費	2,091,747
利子割交付金	19,111	民生費	4,181,458
配当割交付金	4,863	衛生費	1,417,327
株式等譲渡所得割交付金	6,129	労働費	9,914
地方消費税交付金	409,724	農林水産業費	1,174,209
自動車取得税交付金	72,140	商工費	439,086
地方特例交付金	117,811	土木費	2,034,823
地方交付税	5,588,314	消防費	749,781
交通安全対策特別交付金	8,409	教育費	1,735,666
分担金及び負担金	360,208	災害復旧費	555,160
使用料及び手数料	426,173	公債費	2,623,031
国庫支出金	1,671,126		
県支出金	1,268,613		
財産収入	102,387	歳入総額	17,618,540
寄附金	14,100	歳出総額	17,217,060
繰入金	309,310	歳入歳出差引	401,480
繰越金	352,482	翌年度繰越財源	133,164
諸収入	489,465	実質収支	268,316
市債	1,852,800		

(財務契約課)

## ■特別会計の決算規模

(単位：千円)

区分	平成17年度	
	歳入	歳出
総額	15,027,532	14,318,393
国民健康保険	5,683,740	5,130,374
老人保健	5,780,354	5,762,429
介護保険	3,474,009	3,337,876
簡易水道	67,501	66,395
漁業集落排水	21,928	21,319

## ■水道事業会計の決算規模

(単位：千円)

区分	平成17年度	
	収入	支出
収益的収支	710,259	552,418
資本的収支	567,074	827,264

## ■下水道事業会計の決算規模

(単位：千円)

区分	平成17年度	
	収入	支出
収益的収支	722,110	747,758
資本的収支	772,141	968,807

(注)資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、損益勘定留保資金等で補てんされている。

※平成17年度決算の各表は「地方財政状況調査」の数値を基に作成しています。

## ■学校の状況

(平成18年5月1日現在)

区分	学校数	児童生徒数			教員数 (本務者のみ)	職員数 (本務者のみ)	1教員当たり 児童生徒数
		総数	男	女			
幼稚園	7	507	242	265	40	4	12.7
小学校	13	2,419	1,273	1,146	184	41	13.1
中学校	7	1,362	691	671	131	18	10.4
高等学校(本科)	4	1,814	966	848	155	42	11.7

(学校基本調査)

(平成17年度末現在)

### 医療福祉環境

#### 病院

病院 8施設  
診療所 40施設  
歯科診療所 21施設

#### 老人ホーム

養護老人ホーム 1施設  
特別養護老人ホーム 2施設  
有料老人ホーム 2施設  
介護老人保健施設 3施設  
介護療養型医療施設 1施設

(平成17年度末現在)

### 生活環境

#### 公共施設

都市公園 46公園  
図書館 2か所  
公民館 8か所  
文化センター 1か所  
有料公園施設  
・日南総合運動公園  
多目的体育館・陸上競技場・  
野球場・市民プールなど  
・天福公園野球場

#### 上下水道

上水道普及率 97.4%  
下水道普及率 36.5%



潮風が吹き抜け、  
人がほほえむ、  
癒しの空間に出会えます。







市の木  
オビスギ



市の花  
ツバキの花



市の鳥  
カワセミ



市の魚  
マグロ

## 日南市民憲章

昭和44年12月4日制定

わたくしたちは、美しい自然につつまれ、平和な日南市民であることに誇りと責任をもち、おたがいが健康で仲よく、明るい豊かな住みよいまちにするために、市民憲章をさだめます。

- 1 わたくしたち日南市民は、郷土を愛し、緑と花につつまれた、きれいなまちをつくりましょう。
- 1 わたくしたち日南市民は、教養を高め、力を合わせ、平和なまちをつくりましょう。
- 1 わたくしたち日南市民は、働くことに誇りをもち、豊かな住みよいまちをつくりましょう。
- 1 わたくしたち日南市民は、きまりを守り、人々に親切と真心で接し、楽しいまちをつくりましょう。
- 1 わたくしたち日南市民は、心を広く、おたがいの夢と希望を育て、伸びゆくまちをつくりましょう。





**Nichinan City**  
**日南市市勢要覧**

発行日／平成19年3月  
発行／日南市  
編集／日南市企画政策課  
企画・印刷／(株)宮崎南印刷

宮崎県日南市中央通1丁目1番地1  
TEL.0987-31-1117  
FAX.0987-31-1190  
<http://www.city-nichinan.jp/>